



# 機械設備工事特記仕様書

**I 工事概要**

- 1 工事名称 (仮称)かすかべがし交流センター整備(工事)
- 2 工事場所 埼玉県春日部市粕壁東三丁目2番15号
- 3 工期 契約確定日 から 令和 10年 2月 29日  
現場施工期間 令和 8年 10月 1日 から 令和 10年 2月 29日  
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

**4 建物概要**

建物名称	構造	階数	延面積 (m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一	備考
① 春日部教育センター	RC	B1F/4F		16項(イ)	
②					
③					
④					
⑤					

**5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)**

建物別及び屋外	工事種別					屋外
	①	②	③	④	⑤	
● 空 気 調 和 設 備	一 式					
● 換 気 設 備	一 式					
● 排 煙 設 備	一 式					
● 自 動 制 御 設 備	一 式					
● 衛 生 器 具 設 備	一 式					
● 給 水 設 備	一 式					
● 排 水 設 備	一 式					
● 給 湯 設 備	一 式					
● 消 火 設 備	一 式					
○ 厨 房 機 器 設 備						
○ ガ ス 設 備						

**6 指定部分** ※無 ・有  
対象部分： 工期：令和 年 月 日

**7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)**

- 1 専任期間の始期  
請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間。令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 2 専任期間の終期  
工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 3 専任期間の中断  
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

**8 工事範囲** 図示のとおり

**9 機械設備工事概要**

- 1 給水設備工事  
既設高架水槽方式を増圧給水方式へ変更する。給水方式変更に伴い、既設給水引込み管40Aを撤去し、新規に75Aにて引き込み、増圧給水ポンプを設置し必要各所へ給水する。  
新設する機器、器具類へ供給する給水管は全て更新する。
- 2 給湯設備工事  
貯湯式電気温水器による局所式とする。
- 3 排水通気設備工事  
排水ポンプ、更新する器具へ接続する排水管は全て更新する。
- 4 消火設備工事  
既設消火ポンプを更新する。既設消防用補助給水槽撤去に伴い、補助加圧ポンプを代替として新設する。既設屋内消火栓は再使用とする。(一部移設有り)
- 5 ガス設備工事  
既設ガス管は全て撤去する。
- 6 空調設備工事  
ガス吸収式冷水発生機によるセントラル方式を電気式空冷ヒートポンプ方式(ビル用マルチ)へ更新する。更新に伴い、冷媒管、ドレン管を新設する。
- 7 換気設備工事  
エリア毎に給気ファン、排気ファンを用いた換気方式を全熱交換器による個別換気方式へ変更する。

**10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は春日部市電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は春日部市建築工事特別共通仕様書による。**

**11 同時期発注の関連工事**  
・建築工事 ・電気設備工事

**II 工事仕様**

**1 共通仕様**

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市機械設備工事特別共通仕様書 (最新版) (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版)、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版)、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (最新版) (以下「標準仕様書等」という。) 及び監督員の指示に従い施工する。  
なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

**2 特記仕様**

(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項																																										
1	機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7Aハ含有の有無を確認し、7Aハトを含む機材は、使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 ・置く ※置かない																																										
2	電気保安技術者																																											
3	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。																																										
4	技能士の適用	・配管施工 (配管工事) ・建築板金施工 (風道制作及び取付け) ・熱絶縁施工 (保温工事) ・冷凍空調和機器施工 (冷凍空調機器の据付)																																										
5	機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所 (事前に監督員の承諾を得る) に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに (概ね3ヶ月以内) 流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。																																										
6	監督員事務所	本工事で ・設ける (規模 ) ※設けない																																										
7	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。																																										
8	工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。																																										
9	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない																																										
10	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。																																										
11	建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。																																										
12	埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土 (但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類																																										
13	再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																										
14	発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 (構外搬出処理費は ※本工事 ・別途) (1) 引渡しを要するもの ( ) (2) 買取処分をするもの ( ) (3) 再生資源化を図るもの ( ・硬質塩化ビニル管 ・ ) (4) 特別管理産業廃棄物 ( ) ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。																																										
15	容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。																																										
16	配 管	(1) 地中埋設配管 (排水管を除く) 1) 地中埋設種 (コンクリート製) ※要 (図示の箇所) ・不要 2) 地中埋設種 (キャッツアイ) ※要 (舗装部の分岐、曲部) ・不要 3) 埋設表示テープ (2倍折込み) ※要 ・不要																																										
17	耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。 ただし、設計用地震力 (水平及び鉛直) は次の設計用水平震度K <sub>v</sub> 及び設計用鉛直震度K <sub>v</sub> (K <sub>v</sub> /2)を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。  設計用水平震度 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>屋上及び塔屋</td> <td>&lt;2.0&gt;</td> <td>&lt;2.0&gt;</td> <td>&lt;2.0&gt;</td> <td>&lt;1.5&gt;</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>&lt;1.5&gt;</td> <td>&lt;1.5&gt;</td> <td>&lt;1.0&gt;</td> <td>&lt;0.6&gt;</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1階及び地下階</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>&lt;1.0&gt;</td> <td>&lt;1.0&gt;</td> <td>&lt;1.0&gt;</td> <td>&lt;0.6&gt;</td> </tr> </tbody> </table> (注) ( ) 内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階) 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの (平屋建の場合は無し) 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	2.0	1.5	1.5	1.0	屋上及び塔屋	<2.0>	<2.0>	<2.0>	<1.5>	中間階	1.5	1.0	1.0	0.6	<1.5>	<1.5>	<1.0>	<0.6>	1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4	<1.0>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
設置場所	耐震安全性の分類																																											
	特定の施設		一般の施設																																									
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																								
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0																																								
屋上及び塔屋	<2.0>	<2.0>	<2.0>	<1.5>																																								
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6																																								
	<1.5>	<1.5>	<1.0>	<0.6>																																								
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4																																								
	<1.0>	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																								
17-1	あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。) あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。																																										

18 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
ド レ ン 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅶ
蒸 気 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅱ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅱ
冷水・冷温水管	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(ハ)・Ⅲ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	B・(ハ)・Ⅲ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C1・(イ)・Ⅲ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ハ)・Ⅲ
温 水 管 (膨張管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	E3・(ハ)・Ⅲ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	B・(ハ)・Ⅲ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C1・(イ)・Ⅲ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ハ)・Ⅲ
温 水 管 (膨張管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ
機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ	
天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ	
床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅰ	
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	E3・(ハ)・Ⅲ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	B・(ハ)・Ⅲ
温 水 管 (膨張管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
天井内、P S内及び空隙壁中	屋内露出 (一般居室、廊下)	C1・(イ)・Ⅲ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ハ)・Ⅲ
給湯管	屋内露出 (一般居室、廊下)	E3・(ハ)・Ⅲ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	B・(ハ)・Ⅲ
温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
天井内、P S内及び空隙壁中	屋内露出 (一般居室、廊下)	C1・(イ)・Ⅲ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ハ)・Ⅲ
給湯管	屋内露出 (一般居室、廊下)	E3・(ハ)・Ⅲ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	B・(ハ)・Ⅲ

(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆管を使用し、外装は下記による。  
 屋内露出部 ※保温化粧カバー (※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)  
 屋外露出部 ※熔融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング  
 ・保温化粧カバー (※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)  
 2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。  
 3. 機器類の保温材の種類別は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。

区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
長 方 形 ダ ク ト	屋内露出 (一般居室、廊下)	J1・(イ)・X I
	屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)	I・(イ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	I・(ロ)・X I
円 形 ダ ク ト	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	K3・(イ)・X I
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	O1・(イ)・X I
円 形 ダ ク ト	屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)	N・(イ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	
円 形 ダ ク ト	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	P3・(イ)・X I
	屋内露出 (一般居室、廊下)	O1・(イ)・X I
	屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)	N・(イ)・X I
円 形 ダ ク ト	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	P3・(イ)・X I
消音内貼り	サブライチャンパー	M・(ロ)・Ⅹ
	消音チャンパー・消音エルボ	L・(ロ)・Ⅶ

区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
給 水 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
	市営住宅P S内	c2・(ハ)・Ⅶ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ロ)・Ⅰ
給 湯 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	b・(イ)・Ⅰ

		2024.7																																																																																																			
		縮尺		工事名称		図名		図面番号																																																																																													
●空気調和設備		13 その他	(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。 (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 (3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一部取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機駆動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 ・ (2) 冷媒 HFC( R410A、R32又はR407C) (注) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 擬音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・バリアフリートイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット	4 樹の適用	別紙樹表による。																																																																																								
●換気設備		1 設計温湿度	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="6">屋 内</th></tr><tr><th colspan="2">外 気</th><th colspan="2">一般系統</th><th colspan="2">温度(DB)</th><th colspan="2">湿度(RH)</th></tr><tr><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th></tr></thead><tbody><tr><td>夏 期</td><td>37.1℃</td><td>47.1%</td><td>28℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>0.5℃</td><td>49.4%</td><td>20℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></tbody></table> ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。			屋 内						外 気		一般系統		温度(DB)		湿度(RH)		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏 期	37.1℃	47.1%	28℃	%	℃	%	℃	%	冬 期	0.5℃	49.4%	20℃	%	℃	%	℃	%	1 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)	●給水設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示(図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"><thead><tr><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr></thead><tbody><tr><td>床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)</td><td>※SUS ・SGP- PD ・ポリブデン管</td></tr><tr><td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管)</td><td>※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管</td></tr><tr><td>保温をしない屋外露出部</td><td>※SUS ・SGP- PD</td></tr><tr><td>地中埋設部(水道直結部分)</td><td>・ H I V P ※水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・</td></tr><tr><td>地中埋設部(一般部分)</td><td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・</td></tr><tr><td>市営住宅 住戸内</td><td>※ポリブデン管(さや管ヘッダー工法)</td></tr><tr><td>便所天井内、PS内(注5)</td><td>※高密度ポリエチレン管(32A以上)</td></tr><tr><td>便所天井内</td><td>※ポリブデン管(10mm保温付)</td></tr><tr><td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td><td>※ポリブデン管</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr></thead><tbody><tr><td>床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)</td><td>※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管</td></tr><tr><td>湿潤シnder内配管</td><td>※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管</td></tr><tr><td>保温をしない屋外露出部</td><td>※SUS ・SGP- PD</td></tr><tr><td>地中埋設部(一般部分)</td><td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・</td></tr><tr><td>便所天井内、PS内(注5)</td><td>※高密度ポリエチレン管(32A以上)</td></tr><tr><td>便所天井内</td><td>※ポリブデン管(10mm保温付)</td></tr><tr><td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td><td>※ポリブデン管</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管</td></tr></tbody></table> (注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部(・圧縮 ・ガブ)又は ※拡管) 便所・廊下流し廻り露出配管 ※拡管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。 3. 飲料水以外の給水は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用榘を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂(PE100)を採用し、管と継手を電気溶着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部(水道直結部分)は水道事業者の指示による。	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP- PD ・ポリブデン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管)	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP- PD	地中埋設部(水道直結部分)	・ H I V P ※水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・	地中埋設部(一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・	市営住宅 住戸内	※ポリブデン管(さや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内(注5)	※高密度ポリエチレン管(32A以上)	便所天井内	※ポリブデン管(10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブデン管	その他の部分	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管	湿潤シnder内配管	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP- PD	地中埋設部(一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・	便所天井内、PS内(注5)	※高密度ポリエチレン管(32A以上)	便所天井内	※ポリブデン管(10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブデン管	その他の部分	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管	●給湯設備	1 配管材料	●露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管(M鋼管) ※一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブデン管(さや管ヘッダー工法)	2 絶縁フランジ	取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分	3 弁 類	(1) 規格はJIS又はVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。	4 ガス瞬間湯沸器	※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型	5 電気給湯器	飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。
		屋 内																																																																																																			
外 気		一般系統		温度(DB)		湿度(RH)																																																																																															
温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																																																																																														
夏 期	37.1℃	47.1%	28℃	%	℃	%	℃	%																																																																																													
冬 期	0.5℃	49.4%	20℃	%	℃	%	℃	%																																																																																													
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																				
床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP- PD ・ポリブデン管																																																																																																				
ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管)	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管																																																																																																				
保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP- PD																																																																																																				
地中埋設部(水道直結部分)	・ H I V P ※水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・																																																																																																				
地中埋設部(一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・																																																																																																				
市営住宅 住戸内	※ポリブデン管(さや管ヘッダー工法)																																																																																																				
便所天井内、PS内(注5)	※高密度ポリエチレン管(32A以上)																																																																																																				
便所天井内	※ポリブデン管(10mm保温付)																																																																																																				
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブデン管																																																																																																				
その他の部分	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管																																																																																																				
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																				
床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管																																																																																																				
湿潤シnder内配管	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管																																																																																																				
保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP- PD																																																																																																				
地中埋設部(一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・																																																																																																				
便所天井内、PS内(注5)	※高密度ポリエチレン管(32A以上)																																																																																																				
便所天井内	※ポリブデン管(10mm保温付)																																																																																																				
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブデン管																																																																																																				
その他の部分	※SUS ・SGP- PD ・H I V P ・ポリブデン管																																																																																																				
●消火設備		3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける(測定口は80φとする) ・設けない	2 円形ダクト	※スパイラルダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・換気用耐火二層管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(※保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。	●消火設備	1 配管材料	●屋内消火栓用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・H I V P ・高密度ポリエチレン管(消火用) 消火用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・H I V P ・高密度ポリエチレン管(消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370(白) Sch40 ・STPG370(白) Sch80	2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準施工4(・(a) ・(b) ・(c))	●Oガス設備	1 配管材料	●都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP(白) 地中埋設 ※PE管	2 ガス漏れ警報遮断装置	●浅淵検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。	3 液化石油ガスの供給権	●ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																																				
●自動制御		4 煙 突	※別途 ・本工事	5 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ ) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )	●O厨房設備	1 厨房機器の固定	●原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓	2 一体形タンク	●一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。	3 水 栓	●※給湯用水栓を除き大きき呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。 ※親メーター ※貸与品 ・ ) ・子メーター ※買取り ・ )	4 量 水 器	●※水道事業者指定品 ・標準図MC形	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																			
●換気設備		5 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)	6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管(VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP)を使用できる。 ※浴室(シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は(※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ) の排気ダクトには設ける	●O厨房設備	2 ガス漏れ警報遮断装置	●ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																																													
●換気設備		6 円形ダクト	※スパイラルダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・換気用耐火二層管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(※保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。	7 保 温	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ ) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )	●O厨房設備	3 液化石油ガスの供給権	●ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																																													
●換気設備		7 風量測定口	取付口箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入口ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない	●O厨房設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													
●換気設備		8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示方法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	1 ダクト	※亜鉛鉄板 ・	●給湯設備	1 配管材料	●配管材料は ※下記 ・図面指示(図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"><thead><tr><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr></thead><tbody><tr><td>床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)</td><td>※R F- V P又はリサイクルV P ・V P</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP(白) ・</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管V P(FDPS-1)又は耐火V P ・SGP(白)</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※R F- V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr><tr><td>床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)</td><td>※R F- V P又はリサイクルV P ・V P</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管V P(FDPS-1)又は耐火V P ・排水用/ホ-ド-ド 杉塗装鋼管</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※R F- V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr></thead><tbody><tr><td>床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)</td><td>※R F- V P又はリサイクルV P ・V U</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※R E P- V U(軽荷重の場合) ・R F- V P又はリサイクルV P ・V P</td></tr></tbody></table> 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P(FDPS-1)又は耐火V P ・SGP(白) その他の部分 ※リサイクルV P又はR F- V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注)1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K 6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、R F- V P、R S- V U又は、R E P- V Uは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部は45度で行う。	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※R F- V P又はリサイクルV P ・V P	厨房等の温排水	※SGP(白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P(FDPS-1)又は耐火V P ・SGP(白)	その他の部分	※R F- V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※R F- V P又はリサイクルV P ・V P	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P(FDPS-1)又は耐火V P ・排水用/ホ-ド-ド 杉塗装鋼管	その他の部分	※R F- V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※R F- V P又はリサイクルV P ・V U	耐火性能を要求される箇所	※R E P- V U(軽荷重の場合) ・R F- V P又はリサイクルV P ・V P																																																																							
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																				
床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※R F- V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																				
厨房等の温排水	※SGP(白) ・																																																																																																				
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P(FDPS-1)又は耐火V P ・SGP(白)																																																																																																				
その他の部分	※R F- V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																				
床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※R F- V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																				
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P(FDPS-1)又は耐火V P ・排水用/ホ-ド-ド 杉塗装鋼管																																																																																																				
その他の部分	※R F- V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																				
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																				
床下、暗渠内(ビツ内、共同溝を含む。)	※R F- V P又はリサイクルV P ・V U																																																																																																				
耐火性能を要求される箇所	※R E P- V U(軽荷重の場合) ・R F- V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																				
●換気設備		9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製	2 排煙口の形式	※天井取付(・スリット形 ※スイング形) ・壁取付(・スリット形 ・スイング形)	●給湯設備	2 建物導入部配管	●図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準施工4(・(a) ・(b) ・(c))																																																																																													
●換気設備		10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ ) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )	3 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ※電気式(遠隔操作 ・不要 ※要)	●給湯設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													
●換気設備		11 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上)  (5) ドレン管(屋外) ※配管用炭素鋼鋼管(白) ※硬質塩化ビニル管V P ドレン管(屋内) ※保温機能付空調用ドレン管(SADACレバ)G(相当品) ※耐火二層管V P(FDPS-1) ・配管用炭素鋼鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管V P (消防協議事項) したが、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。	●給湯設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													
●換気設備		12 弁 類	規格はJIS又はVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	1 中央監視制御装置	・有り ※無し	●給湯設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													
●換気設備		13 温度計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入口ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー(往)及び各連り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	2 構成・機能	図示による	●給湯設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													
●換気設備		14 圧力計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※冷温水ヘッダー(往)及び各連り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	3 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	●給湯設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													
●換気設備		15 瞬間流量計	瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は(※1個 ・個)付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに(※固定形 ・着脱形)を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに(※固定形 ・着脱形)を設ける。	1 小便器用節水装置	JIS B 2026(自動水栓)による電気開閉式とし、小便器(※一体形・分離形)とする。	●給湯設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													
●換気設備		16 油面制御装置	※往又はどちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ(※固定形 ・着脱形)を設ける。 制御盤には(※給油ポンプ制御 ※漏減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御)の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	2 バリアフリー対応	・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり(・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓(・全部 ※一部) ・レバー式水栓(一部) ・シャワー ※サースタット式 ・ミキシング式 ※スライダー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800(耐食鏡) ・傾斜鏡(・照明無 ・照明付)	●給湯設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													
●換気設備		17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	3 衛生器具付風水栓	(1) 器具付風止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	●給湯設備	3 安全装置の機能の適用	●標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																																													

							春日部市			縮 尺		工 事 名 称		図 名		図面番号
										—		(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事		機械設備工事特記仕様書(2)		TM-02

● 環境配慮 グリーン 改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項	留意事項 1. 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。 2. アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。 3. この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下「改修仕様」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（厚生労働省・環境省）による。																																																																																																																																			
	2 アスベスト含有分析 調査	分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1] ・ 行う（下表による） <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </table> 採取箇所 ※ 図示 ・ 分析対象 ※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト） 調査方法・分析方法 ※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。 分析結果については、監督員に提出すること。	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																									
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																																			
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																				
3 アスベスト粉じん 濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1] ・ 行う（測定名称及び測定点は下表による） 測定箇所 ※ 図示 ・ <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">通 用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数 (各処理作業室ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th>レベル1</th> <th>レベル2</th> <th>レベル3</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>※各2点・各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>処理作業前</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (隔離シート除去前)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後 (シート除去後1週間以降)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>処理作業後 (シート除去後1週間以降)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点 (レベル3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定10</td> <td>処理作業後 (シート除去後1週間以降)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノズル径</td> <td>25 mm</td> <td></td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> </tr> <tr> <td>計数石綿</td> <td colspan="3">直径（幅）3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> 報告書の作成（記録する項目） ア 測定結果 イ 測定時間 ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載） エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量） オ マウンティング方法 カ 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ 測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向 ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真	通 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考	レベル1	レベル2	レベル3						○	○	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点		○	○	・	測定2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定3	処理作業前	処理作業室内	各2点		○	・	・	測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認	○	・	・	測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認	○	○	・	測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		○	○	・	測定7	処理作業後 (隔離シート除去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		○	○	・	測定8	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定9	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)		・	・	・	測定10	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点			測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			ノズル径	25 mm		47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			計数石綿	直径（幅）3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
通 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考																																																																																																																														
レベル1	レベル2	レベル3																																																																																																																																			
○	○	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点																																																																																																																															
○	○	・	測定2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
・	・	・	測定3	処理作業前	処理作業室内	各2点																																																																																																																															
○	・	・	測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認																																																																																																																														
○	・	・	測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																														
○	○	・	測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
○	○	・	測定7	処理作業後 (隔離シート除去前)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																															
○	○	・	測定8	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
・	・	・	測定9	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)																																																																																																																															
・	・	・	測定10	処理作業後 (シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																															
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5																																																																																																																																		
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																				
ノズル径	25 mm		47 mm																																																																																																																																		
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																		
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																																		
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																																																																				
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																																																				
計数石綿	直径（幅）3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質																																																																																																																																				
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																		

4 7μm以上含有吹付け材の撤去（レベル1）	アスベスト含有吹付け材の除去 [9.1.3] ・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。  除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 処理を行う吹付けアスベストの仕様 <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示 ・																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示 ・																													
5 7μm以上含有保温材等の撤去（レベル2）	アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4] ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様 <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲			※ 図示 ・																								
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																													
		※ 図示 ・																													
6 7μm以上含有成形板類の撤去（レベル3）	1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5] ・ 行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等 <table border="1"> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> </tr> </table> 2 非石綿部での切断による除去 ・ 行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等 <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> <tr> <td>・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）</td> <td>※ 図示</td> <td>○ 撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有保温材付配管</td> <td>※ 図示</td> <td>○ 撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有配管フランジパッキン</td> <td>※ 図示</td> <td>○ 撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td>○ 撤去範囲すべて</td> </tr> </table> ※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。  ＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー  ＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー 1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2） 成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化した石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講じるとともに、関係機関に通報する。	材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・	※ 図示	・	・	※ 図示	・	・	※ 図示	・	・	※ 図示	・	材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）	※ 図示	○ 撤去範囲すべて	・ 石綿含有保温材付配管	※ 図示	○ 撤去範囲すべて	・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示	○ 撤去範囲すべて	・	※ 図示	○ 撤去範囲すべて
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・	※ 図示	・																													
・	※ 図示	・																													
・	※ 図示	・																													
・	※ 図示	・																													
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																													
・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）	※ 図示	○ 撤去範囲すべて																													
・ 石綿含有保温材付配管	※ 図示	○ 撤去範囲すべて																													
・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示	○ 撤去範囲すべて																													
・	※ 図示	○ 撤去範囲すべて																													

＜作業フローチャート＞ 	参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法 
2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3） 建築物のダクトには、接合部に石綿含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。 ＜作業フローチャート＞ 	参考図2 配管フランジパッキンの除去方法 
3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2） 直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。 ＜作業フローチャート＞ 	参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法 

			春日部市		縮 尺	—	工 事 名 称	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	図 名	機械設備工事特記仕様書 (3)	図面番号	TM-03
--	--	--	------	--	-----	---	---------	------------------------	-----	-----------------	------	-------

機器番号	系統名	型式	室外機										室内機										電源		中央監視		監視		備考							
			台数	冷房能力 [kW]	暖房能力 [kW]	送風機 [kW]	圧縮機 [kW]	消費電力 [kW]	電圧			設置場所	台数	冷房能力 [kW]	暖房能力 [kW]	送風機 [m³/h]	機外静圧 [Pa]	出力 [kW]	圧縮機 [kW]	消費電力 [kW]	電圧		外気量 [m³/h]	加湿量 [kg/h]	フィルタ	設置場所	防火	保安		監視	監視	リモコン 台数	冷暖 ユニット 台数			
									相	電圧	周										相	電圧														
MAC-1	まちのラウンジ系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	50.0	56.0	0.66	9.36	12.6	3	200	2																									
MAC-1-1	まちのラウンジ	天井埋込ダクト																																		
MAC-2	センター事務室系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	22.4	25.0	0.31	4.3	5.33	3	200	2																									
MAC-2-1	センター事務室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-3	ユーティリティスペース系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	73.0	82.5	0.96	14.63	17.9	3	200	2																									
MAC-3-1	ホワイエ・キャブリー	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-3-2	ELVホール・廊下	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-4	多目的室1~3系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	90.0	100.0	1.12	19.76	22.6	3	200	2																									
MAC-4-1	多目的室1	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-4-2	多目的室2	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-4-3	多目的室3	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-4-4	和室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-4-5	廊下	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-4-6	調理室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-5	多目的室4~8系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	90.0	100.0	1.12	19.76	22.6	3	200	2																									
MAC-5-1	多目的室4	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-5-2	多目的室5	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-5-3	多目的室6	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-5-4	多目的室7	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-5-5	多目的室8	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-5-6	多目的室9	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-5-7	多目的室10	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-6	会議室系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	77.5	90.0	0.99	16.36	19.7	3	200	3																									
MAC-6-1	会議室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-6-2	男性更衣室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-6-3	所長室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-6-4	打合せスペース	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-6-5	執務室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-7	女性更衣室系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	56.0	63.0	0.75	10.54	13.7	3	200	3																									
MAC-7-1	女性更衣室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-7-2	印刷室・倉庫	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-7-3	休憩室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-7-4	学習室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8	事務室系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	100.0	112.0	1.32	23.1	28.1	3	200	R																									
MAC-8-1	電話相談室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-2	事務室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-3	登録支援指導教室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-4	準備室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-5	受付	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-6	ホール・廊下	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-7	待合	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-8	相談室(1)	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-9	相談室(2)	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-10	相談室(3)	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-11	検査室兼相談室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-8-12	遊戯室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-9	交流スクエア系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	73.0	82.5	0.96	14.63	17.9	3	200	2																									
MAC-9-1	交流スクエア	天井ビルトイン																																		
MAC-9-2	ELVホール	天井埋込ダクト																																		
MAC-9-3	授乳室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-9-4	授乳室	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-9-5	自転車コーナー	天井カセット 4方向吹出																																		
MAC-9-6	エントランスホール	天井埋込ダクト																																		
MAC-10	ELVホール・廊下系統	ビル用マルチ室外機(冷暖切替)	1	33.5	37.5	0.44	7.7	9.4	3	200	R																									
MAC-10-1	ELVホール・廊下	天井																																		



機器番号	機器名称	系統名	台数	電動機(50Hz)										I N V	インナーロック・連動		操作・表示			計量 G:JIS C 3700 S:3相 P:JIS C 9603	設置場所 階	室名	備考	
				型式	消費 電力 [W]	振付	番号	風量 [m3/h]	静圧 [Pa]	動力 [W]	相	電圧 [V]	起動 方法		非常 電源	連動機器	操作 発停	中央監視に よる遠方						
																		発停	状態					警報
HEX - B1 - 1	全熱交換器	B1 整理作業	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	350	150	240	1	100	L-S			手元				G	B1	整理作業	LGH-N50RXW2	
HEX - 1 - 1	全熱交換器	1階 まちのフアンジ	2	天井埋込ダクト形		天吊	250φ	700	200	540	1	100	L-S			手元				G	1	まちのフアンジ	LGH-N80RXV2	
HEX - 1 - 2	全熱交換器	1階 センター事務室	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	300	150	145	1	100	L-S			手元				G	1	センター事務室	LGH-N35RXW2	
HEX - 1 - 3	全熱交換器	1階 郷土資料館事務室	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	300	150	240	1	100	L-S			手元				G	1	郷土資料館事務室	LGH-N50RXW2	
HEX - 1 - 4	全熱交換器	1階 交流スクエア	1	天井埋込ダクト形		天吊	250φ	1,000	200	625	1	100	L-S			手元				G	1	交流スクエア	LGH-N100RXV2	
HEX - 2 - 1	全熱交換器	2階 多目的室1	2	天井埋込ダクト形		天吊	250φ	830	150	540	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室1	LGH-N80RXV2	
HEX - 2 - 2	全熱交換器	2階 多目的室2	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室2	LGH-N65RXW2	
HEX - 2 - 3	全熱交換器	2階 多目的室3	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室3	LGH-N65RXW2	
HEX - 2 - 4	全熱交換器	2階 和室	1	天井埋込ダクト形		天吊	250φ	700	200	540	1	100	L-S			手元				G	2	和室	LGH-N80RXV2	
HEX - 2 - 5	全熱交換器	2階 多目的室4	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	350	150	145	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室4	LGH-N35RXW2	
HEX - 2 - 6	全熱交換器	2階 多目的室5	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	350	150	145	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室5	LGH-N35RXW2	
HEX - 2 - 7	全熱交換器	2階 多目的室6	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	350	150	145	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室6	LGH-N35RXW2	
HEX - 2 - 8	全熱交換器	2階 多目的室7	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	750	200	540	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室7	LGH-N80RXV2	
HEX - 2 - 9	全熱交換器	2階 多目的室8	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室8	LGH-N65RXW2	
HEX - 2 - 10	全熱交換器	2階 多目的室9	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室9	LGH-N65RXW2	
HEX - 2 - 11	全熱交換器	2階 多目的室10、調理室	2	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	2	多目的室10	LGH-N65RXW2	
HEX - 2 - 12	全熱交換器	2階 鉄道事業PRブース	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	2	鉄道事業PRブース	LGH-N65RXW2	
HEX - 3 - 1	全熱交換器	3階 調整室(倉庫3)	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	500	150	240	1	100	L-S			手元				G	3	調整室(倉庫3)	LGH-N50RXW2	
HEX - 3 - 2	全熱交換器	3階 調整室(スタジオ2)	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	500	150	240	1	100	L-S			手元				G	3	調整室(スタジオ2)	LGH-N50RXW2	
HEX - 3 - 3	全熱交換器	3階 講師控室	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	150	150	145	1	100	L-S			手元				G	3	講師控室	LGH-N35RXW2	
HEX - 3 - 4	全熱交換器	3階 会議室	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	500	150	240	1	100	L-S			手元				G	3	会議室	LGH-N100RXW2	
HEX - 3 - 5	全熱交換器	3階 所長室	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	150	150	145	1	100	L-S			手元				G	3	所長室	LGH-N35RXW2	
HEX - 3 - 6	全熱交換器	3階 打合せスペース	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	300	150	145	1	100	L-S			手元				G	3	打合せスペース	LGH-N35RXW2	
HEX - 3 - 7	全熱交換器	3階 執務室	2	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	350	150	145	1	100	L-S			手元				G	3	執務室	LGH-N35RXW2	
HEX - 3 - 8	全熱交換器	3階 印刷室・倉庫	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	550	150	240	1	100	L-S			手元				G	3	印刷室・倉庫	LGH-N50RXW2	
HEX - 3 - 9	全熱交換器	3階 学習室	2	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	500	150	240	1	100	L-S			手元				G	3	学習室	LGH-N50RXW2	
HEX - 4 - 1	全熱交換器	4階 電話相談室	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	150	150	100	1	100	L-S			手元				G	4	電話相談室	LGH-N25RXW2	
HEX - 4 - 2	全熱交換器	4階 事務室	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	450	150	240	1	100	L-S			手元				G	4	事務室	LGH-N50RXW2	
HEX - 4 - 3	全熱交換器	4階 登校支援指導教室	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	4	登校支援指導教室	LGH-N65RXW2	
HEX - 4 - 4	全熱交換器	4階 準備室	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	150	150	100	1	100	L-S			手元				G	4	準備室	LGH-N25RXW2	
HEX - 4 - 5	全熱交換器	4階 待合 ホール	1	天井埋込ダクト形		天吊	250φ	700	200	540	1	100	L-S			手元				G	4	受付	LGH-N80RXW2	
HEX - 4 - 6	全熱交換器	4階 相談室(1)	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	150	150	100	1	100	L-S			手元				G	4	相談室(1)	LGH-N25RXW2	
HEX - 4 - 7	全熱交換器	4階 相談室(2)	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	150	150	100	1	100	L-S			手元				G	4	相談室(2)	LGH-N25RXW2	
HEX - 4 - 8	全熱交換器	4階 相談室(3)	1	天井埋込ダクト形		天吊	150φ	200	150	145	1	100	L-S			手元				G	4	相談室(3)	LGH-N35RXW2	
HEX - 4 - 9	全熱交換器	4階 検査室兼相談室	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	4	検査室兼相談室	LGH-N65RXW2	
HEX - 4 - 10	全熱交換器	4階 遊戯室	1	天井埋込ダクト形		天吊	250φ	650	200	540	1	100	L-S			手元				G	4	遊戯室	LGH-N65RXW2	
EFO - RF - 1	排風機	2階 ホール	1	片吸込形シロッコファン		床置	#3	9,650	300	3700	3	200	L-S			遠方				S	RF	ホール	CLF-No.3 3.7KW	
EFO - RF - 2	排風機	3階 スタジオ1	1	片吸込形シロッコファン		床置	#11/4	1,000	200	400	3	200	L-S			遠方				S	RF	スタジオ1	CLF6-No.1 1/4 0.4KW	
HEX - S1 - 1	全熱交換器	1階 展示1	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	600	150	355	1	100	L-S			手元				G	1	展示1	LGH-N65RXW2	
HEX - S1 - 2	全熱交換器	1階 展示2	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	550	150	355	1	100	L-S			手元				G	1	展示2	LGH-N65RXW2	
HEX - S1 - 3	全熱交換器	1階 展示3	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	650	150	355	1	100	L-S			手元				G	1	展示3	LGH-N65RXW2	
HEX - S1 - 4	全熱交換器	1階 休憩エリア	1	天井埋込ダクト形		天吊	250φ	850	200	540	1	100	L-S			手元				G	1	休憩エリア	LGH-N80RXV2	
HEX - S1 - 5	全熱交換器	1階 販売エリア	1	天井埋込ダクト形		天吊	200φ	400	150	240	1	100	L-S			手元				G	1	販売エリア	LGH-N50RXW2	
EF - S1 - 1	排風機	1階 パントリー	1	ストレートシロッコファン		天吊	150φ	150	150	57	1	100	L-S			手元				G	1	パントリー	BFS-40SYA2	
EF - S1 - 2	排風機	1階 倉庫	1	ストレートシロッコファン		天吊	150φ	400	150	63	1	100	L-S			手元				G	1	倉庫	BFS-50SUDC	

注記

- |  |                               |                            |
|--|-------------------------------|----------------------------|
| 1 機器仕様及び記載のない付属品は国土交通省仕様とする。   | 5 表中の能力は、必要能力とする。             | 10 全熱交換器のフィルターはエアフィルターとする。 |
| 2 「遠方」において、単相は分電盤(電気工事)、三相は動力制御盤(電気工事)での対応を示す。                       | 6 全熱交換器の交換効率率は、50%以上とする。      | 11 風量は強モード時の値とする。          |
| 3 連動制御は電気工事とする。  | 7 予備フィルターは、100%見込み事とする。       |                            |
| 4 試験規格は電動機出力：JIS B 8330 (片吸込みシロッコファン)、消費電力：JIS C 9603 (ストレートシロッコファン) | 8 全熱交換器はリモコンスイッチを付属とする。(1台1個) |                            |
| 高効率電動機：JIS C 4212 (高効率低圧三相)、JIS C 4213 (低圧トッパンナーモータ)                 | 9 全熱交換器はマイコンタイプとする。           |                            |



階	室名	居室 / 非居室	床面積 Af (m <sup>2</sup> )	天井高 H (m)	室容積 Af・H (m <sup>3</sup> )	換気回数による計算		居室の換気計算				
						必要 換気回数 n (回/h)	必要 換気量 (m <sup>3</sup> /h)	面積当り の人数 (人/m <sup>2</sup> )	人員 N 人	1人当りの 換気量 X (m <sup>3</sup> /h人)	必要換気量 V=XAf/N (m <sup>3</sup> /h)	決定換気量 (m <sup>3</sup> /h)
1	まちのラウンジ	居室	165.68	2.90	480.47	0.5	240	0.33	55	25	1,375	1,400
1	センター事務室	居室	58.72	2.60	152.67	0.5	76	0.20	12	25	300	300
1	給湯室	非居室	2.94	2.60	7.64	10.0	76					100
1	更衣M	非居室	3.19	2.40	7.66	5.0	38					50
1	更衣W	非居室	3.28	2.40	7.87	5.0	39					50
2	ホール	居室	184.24	7.26	1,337.03	0.5	669	2.00	369	25	9,225	9,250
2	ホールステージ	居室	100.11	7.26	726.50	0.5	363	0.15	16	25	400	400
2	倉庫6	非居室	18.70	2.40	44.88	5.0	224					250
2	倉庫2	非居室	24.76	2.40	59.42	5.0	297					300
2	倉庫4	非居室	15.13	2.40	36.31	5.0	182					200
2	多目的室1	居室	97.46	2.75	268.02	0.5	134	0.67	66	25	1,650	1,650
2	多目的室2	居室	47.70	2.60	124.02	0.5	62	0.50	24	25	600	600
2	多目的室3	居室	47.18	2.60	122.67	0.5	61	0.50	24	25	600	600
2	和室	居室	44.14	2.60	114.76	0.5	57	0.50	23	25	575	600
2	踊込	非居室	14.78	2.60	38.43	1.0	38					50
2	倉庫3	非居室	5.61	2.40	13.46	5.0	67					100
2	調理室	居室	49.71	2.75	136.70	14.0	1,914	0.30	15	25	375	1,950
2	多目的室4	居室	20.19	2.75	55.52	0.5	28	0.48	10	25	250	250
2	多目的室5	居室	20.19	2.75	55.52	0.5	28	0.48	10	25	250	250
2	多目的室6	居室	19.12	2.75	52.58	0.5	26	0.48	10	25	250	250
2	多目的室7	居室	52.74	2.75	145.04	0.5	73	0.55	30	25	750	750
2	多目的室8	居室	46.59	2.75	128.12	0.5	64	0.50	24	25	600	600
2	多目的室9	居室	46.59	2.75	128.12	0.5	64	0.50	24	25	600	600
2	多目的室10	居室	48.99	2.75	134.72	0.5	67	0.48	24	25	600	600
2	倉庫5	非居室	29.28	2.60	76.13	5.0	381					400
3	調整室(倉庫3)	居室	36.32	2.40	87.17	5.0	436	0.25	10	25	250	450
3	倉庫1	非居室	3.82	2.40	9.17	5.0	46			25		50
3	スタジオ1	居室	71.40	3.00	214.20	0.5	107	0.50	36	25	900	900
3	調整室(スタジオ2)	居室	32.91	2.50	82.28	5.0	411	0.50	17	25	425	450
3	倉庫2	非居室	9.37	2.40	22.49	5.0	112					150
3	講師控室	居室	14.93	2.40	35.83	0.5	18	0.30	5	25	125	150
3	会議室	居室	52.80	2.65	139.92	0.5	70	0.35	19	25	475	500
3	男性更衣室	居室	13.20	2.50	33.00	5.0	165					200
3	所長室	居室	23.30	2.65	61.75	0.5	31	0.25	6	25	150	150
3	打合せスペース	居室	23.30	2.65	61.75	0.5	31	0.50	12	25	300	300
3	執務室	居室	141.50	2.65	374.98	0.5	187	0.15	22	25	550	550
3	休憩室	居室	9.20	2.65	24.38	0.5	12	0.50	5	25	125	150
3	女性更衣室	居室	9.30	2.50	23.25	5	116					150
3	印刷室・倉庫	居室	39.40	2.65	104.41	5.0	522			25		550
3	学習室	居室	122.41	2.40	293.78	0.5	147	0.30	37	25	925	950
3	共用倉庫	非居室	43.88	2.40	105.31	5.0	527					550
3	倉庫4	非居室	2.09	2.40	5.02	5.0	25					50
4	倉庫2	居室	4.74	2.40	11.38	5.0	57			25		100
4	給湯室	非居室	4.05	2.40	9.72	5.0	49			25		50
4	ロッカー室	非居室	5.50	2.40	13.20	5.0	66					100
4	電話相談室	居室	6.51	2.40	15.62	0.5	8	0.70	5	25	125	150
4	事務室	居室	57.74	2.60	150.12	0.5	75	0.30	18	25	450	450
4	登校支援指導教室	居室	55.18	2.95	162.78	0.5	81	0.40	23	25	575	600
4	準備室	居室	4.19	2.50	10.48	0.5	5	0.70	3	25	75	100
4	受付	非居室	4.09	2.60	10.63	3.0	32	0.30	2	25		50

階	室名	居室 / 非居室	床面積 Af (m <sup>2</sup> )	天井高 H (m)	室容積 Af・H (m <sup>3</sup> )	換気回数による計算		居室の換気計算				
						必要 換気回数 n (回/h)	必要 換気量 (m <sup>3</sup> /h)	面積当り の人数 (人/m <sup>2</sup> )	人員 N 人	1人当りの 換気量 X (m <sup>3</sup> /h人)	必要換気量 V=XAf/N (m <sup>3</sup> /h)	決定換気量 (m <sup>3</sup> /h)
4	ホール・廊下	非居室	99.88	2.60	259.69	1.0	260	0.30	30	25	750	750
4	待合	非居室	6.40	2.60	16.64	1.0	17	0.20	2	25	50	50
4	相談室(1)	居室	12.28	2.55	31.31	0.5	16	0.40	5	25	125	150
4	相談室(2)	居室	12.68	2.55	32.33	0.5	16	0.40	6	25	150	150
4	相談室(3)	居室	16.33	2.55	41.64	0.5	21	0.40	7	25	175	200
4	検査室兼相談室	居室	36.16	2.60	94.02	0.5	47	0.58	21	25	525	550
4	倉庫1	非居室	10.83	2.50	27.08	5.0	135					150
4	遊戯室	居室	49.07	2.80	137.40	0.5	69	0.50	25	25	625	650
B1	整理作業	非居室	66.77					0.20	14	25	350	350
B1	ELV機械室	非居室	9.37	3.90	36.54	5.0	183					200
1	常設展示ホール	非居室	215.97					0.20	44	25	1,100	1,100
1	特別企画展示室	非居室	70.02					0.10	8	25	200	200
1	郷土資料館事務室	居室	53.38	2.60	138.79			0.20	11	25	275	300
1	ELVホール	非居室	9.01	3.25	29.28			0.10	1	25	25	50
1	荷捌室	非居室	31.44	2.80	88.03			0.10	4	25	100	100
1	収蔵庫	非居室	21.76	2.50	54.40	5.0	272	0.10	3	25	75	300
1	更衣M・倉庫	居室	8.94	2.40	21.46	5.0	107	0.10	1	25	25	150
1	更衣W	居室	3.84	2.40	9.22	5.0	46	0.10	1	25	25	50
B1	前室		7.49	2.40	17.98	1.0	18	0.20	2	25	50	50
B1	休憩室		14.92	2.40	35.81	0.5	18	0.30	5	25	125	150
B1	電話交換機室		6.57	2.40	15.77	5.0	79					100
B1	ハロンボンベ庫		19.18	3.90	74.80	5.0	374					400
B1	消火栓ポンプ室		64.26	3.90	250.61	5.0	1,253					1,300
B1	倉庫		6.31	2.40	15.14	5.0	76					100
B1	便所		5.00	2.40	12.00	10.0	120					150
1	交流スクエア		189.01	9.85	1,861.75	0.5	931	0.20	38	25	950	950
1	授乳室		12.42	2.40	29.81	5.0	149					150
1	SK		1.46	2.40	3.50	10.0	35					50
1	HWC		7.37	2.40	17.69	10.0	177					200
1	WWC		21.32	2.55	54.37	10.0	544					550
1	MWC		15.92	2.55	40.60	10.0	406					450
1	子どもWC		6.28	2.55	16.01	10.0	160					200
1	自販機電子レンジ		8.79	2.50	21.98	5.0	110					150
2	ユーティリティスペース		5.29	2.40	12.70	5.0	63					100
2	鉄道事業PRブース		109.19	2.55	278.43	0.5	139	0.20	22	25	550	550
2	WWC1		11.74	2.55	29.94	10.0	299					300
2	MWC1		12.38	2.55	31.57	10.0	316					350
2	HWC1		6.13	2.40	14.71	10.0	147					150
2	SK		1.17	2.40	2.81	10.0	28					50
2	MWC2		17.62	2.55	44.93	10.0	449					450
2	WWC2		16.67	2.55	42.51	10.0	425					450
2	給湯室		2.53	2.40	6.07	5.0	30					50
3	給湯室		5.20	2.40	12.48	5.0	62					100
3	女子便所		15.58	2.55	39.73	10.0	397					400
3	男子便所		17.35	2.55	44.24	10.0	442					450
4	WWC		13.83	2.55	35.27	10.0	353					400
4	MWC		15.84	2.55	40.39	10.0	404					450
4	HWC		4.78	2.40	11.47	10.0	115					150
PH	倉庫		25.80	3.00	77.40	5.0	387					400

制気口リスト

階	室名	吹 出 口						吹 出 口 ボ ッ ク ス			吸 込 口						吸 込 口 ボ ッ ク ス			備 考
		種別	種類	寸 法	風量 m3/h	個数	小計 m3/h	ボックス寸法	内貼 25t		種別	種類	寸 法	風量 m3/h	個数	小計 m3/h	ボックス寸法	内貼 25t		
									無	有								無	有	
B1	整理作業室	SA	VHS	250×250	350	1	350	400×400×300		○	RA	HS	250×250	350	1	350	400×400×300		○	
B1	ELV機械室										EA	HS	200×200	150	1	150	350×350×300		○	
B1	前室										EA	HS	200×200	50	1	50	350×350×300		○	
B1	前室										EA	HS	200×200	150	1	150	350×350×300		○	
B1	休憩室										EA	HS	200×200	150	1	150	350×350×300		○	
B1	休憩室	EA	VHS	200×200	150	1	150	350×350×300		○										
B1	電話交換機室										EA	HS	200×200	150	1	150	350×350×300		○	
B1	便所										EA	HS	200×200	200	1	200	350×350×300		○	
B1	倉庫										EA	HS	200×200	150	1	150	350×350×300		○	
B1	ハロンポンベ庫										EA	HS	300×300	400	1	400	450×450×300		○	
B1	ハロンポンベ庫	EA	VHS	300×300	400	1	400	450×450×300		○										
B1	廊下										EA	HS	300×300	400	1	400	450×450×300		○	
B1	消火栓ポンプ室										EA	金網	250×250	325	4	1,300	400×400×300		○	
B1	消火栓ポンプ室	EA	VHS	500×500	1,300	1	1,300	650×650×500		○										
B1	ELVホール										EA	HS	500×500	1,300	1	1,300	650×650×500		○	
1	あそび交流広場	SA	VHS	350×350	700	3	2,100	500×500×400		○	RA	HS	350×350	700	3	2,100	500×500×400		○	
1	あそび交流広場	OA	HS	350 350	700	2	1,400	500×500×400		○	EA	HS	350×350	700	3	2,100	500×500×400		○	
1	センター事務室	SA	VHS	250×250	300	1	300	400×400×300		○	RA	HS	250×250	300	1	300	400×400×300		○	
1	郷土資料館事務室	SA	VHS	250×250	300	1	300	400×400×300		○	RA	HS	250×250	300	1	300	400×400×300		○	
1	事業PRスペース	SA	VHS	400×400	1,000	1	1,000	550×550×500		○	RA	HS	400×400	1,000	1	1,000	550×550×500		○	
1	給湯室										EA	HS	200×200	100	1	100	350×350×300		○	
1	更衣M										EA	HS	200×200	100	1	100	350×350×300		○	
1	更衣W										EA	HS	200×200	100	1	100	350×350×300		○	
1	収蔵庫										EA	HS	250×250	300	1	300	400×400×300		○	
1	収蔵庫	EA	VHS	250×250	300	1	300	400×400×300		○										
1	荷物室										EA	HS	250×250	300	1	300	400×400×300		○	
1	授乳室										EA	HS	200×200	75	2	150	350×350×300		○	
1	授乳室	EA	VHS	200×200	150	1	150	350×350×300		○										
1	廊下										EA	HS	200×200	150	1	150	350×350×300		○	
1	SK										EA	HS	200×200	50	1	50	350×350×300		○	
1	HWC										EA	HS	200×200	250	1	250	350×350×300		○	
1	WWC										EA	HS	200×200	138	4	550	350×350×300		○	
1	MWC										EA	HS	200×200	117	3	350	350×350×300		○	
1	こどもWC										EA	HS	200×200	200	1	200	350×350×300		○	
1	自販機コーナー										EA	HS	200×200	150	1	150	350×350×300		○	
1	あそび交流広場	SA	VHS	500×500	1,365	6	8,190	650×650×500		○	RA	HS	500×500	1,365	6	8,190	650×650×500		○	
1	ELVホール	SA	BL	2500×150	1,080	1	1,080	2650×300×500		○	RA	CL	1000×150	1,080	1	1,080	1150×1150×500		○	
1	エントランスホール	SA	BL	2500×150	1,020	1	1,020	2650×300×500		○	RA	CL	1000×150	1,020	1	1,020	1150×1150×500		○	
1	交流スクエア	SA	ノズル	#10	660	6	3,960			○	RA	HS	500×500	1,320	3	3,960	650×650×500		○	
2	多目的室1	SA	VHS	300×300	500	2	1,000	450×450×300		○	RA	HS	300×300	500	2	1,000	450×450×300		○	
2	多目的室2	SA	VHS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	RA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	
2	多目的室3	SA	VHS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	RA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	
2	和室	SA	VHS	350×350	700	1	700	500×500×400		○	RA	HS	350×350	700	1	700	500×500×400		○	
2	多目的室4	SA	VHS	350×350	750	1	750	500×500×400		○	RA	HS	350×350	750	1	750	500×500×400		○	
2	多目的室5	SA	VHS	350×350	700	1	700	500×500×400		○	RA	HS	350×350	700	1	700	500×500×400		○	
2	多目的室6	SA	VHS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	RA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	
2	多目的室7	SA	VHS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	RA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	
2	多目的室8	SA	VHS	350×350	750	1	750	600×600×500		○	RA	HS	350×350	750	1	750	600×600×500		○	
2	多目的室9	SA	VHS	400×400	600	1	600	500×500×300		○	RA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	
2	多目的室10	SA	VHS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	RA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	
2	ホワイエ・ギャラリー	SA	VHS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	RA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	
2	廊下										EA	HS	350×350	750	1	750	500×500×400		○	
2	廊下										EA	HS	350×350	700	1	700	500×500×400		○	

制気口リスト

階	室名	吹 出 口						吹 出 口 ボ ッ ク ス			吸 込 口						吸 込 口 ボ ッ ク ス			備 考		
		種別	種類	寸 法	風量 m3/h	個数	小計 m3/h	ボ ッ ク ス 寸 法			内貼 25t 無 有	種別	種類	寸 法	風量 m3/h	個数	小計 m3/h	ボ ッ ク ス 寸 法			内貼 25t 無 有	
								ボックス寸法	ボックス寸法	ボックス寸法								ボックス寸法	ボックス寸法			ボックス寸法
2	倉庫2										EA	HS	200 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o				
2	倉庫2	パ	VHS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o													
2	多目的室1										パ	HS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o				
2	倉庫3										EA	HS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o				
2	倉庫3	パ	VHS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o													
2	廊下										パ	HS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o				
2	倉庫4										EA	HS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o				
2	倉庫4	パ	VHS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o													
2	ユーティリティスペース										パ	HS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o				
2	ユーティリティスペース										EA	HS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o				
2	倉庫5										EA	HS	300 x 300	400	1	400	450 x 450 x 300	o				
2	倉庫6										EA	HS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o				
2	倉庫6	パ	VHS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o													
2	前室										パ	HS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o				
2	WWC1										EA	HS	200 x 200	117	3	350	350 x 350 x 300	o				
2	MWC1										EA	HS	200 x 200	117	3	350	350 x 350 x 300	o				
2	HMC1										EA	HS	200 x 200	200	1	200	350 x 350 x 300	o				
2	給湯室										EA	HS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o				
2	給湯室	パ	VHS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o													
2	ELVホール										パ	HS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o				
2	ELVホール																					
2	交流スクエア	SA	ノズル	#10	660	6	3,960		o		RA	HS	500 x 500	1,320	3	3,960	650 x 650 x 500	o				
3	倉庫	SA	VHS	300 300	450	1	450	450 450 300	o		RA	HS	300 300	450	1	450	450 450 300	o				
3	前室	SA	VHS	250 x 250	300	1	300	400 x 400 x 300	o		RA	HS	250 x 250	300	1	300	400 x 400 x 300	o				
3	講師控室	SA	VHS	250 x 250	300	1	300	400 x 400 x 300	o		RA	HS	250 x 250	300	1	300	400 x 400 x 300	o				
3	多目的室9	SA	VHS	400 x 400	1,000	1	1,000	550 x 550 x 500	o		RA	HS	400 x 400	1,000	1	1,000	550 x 550 x 500	o				
3	多目的室10	SA	VHS	250 x 250	390	4	1,560	400 x 400 x 300	o		RA	HS	250 x 250	390	4	1,560	400 x 400 x 300	o				
3	学習室	SA	VHS	400 x 400	1,000	1	1,000	550 x 550 x 500	o		RA	HS	400 x 400	1,000	1	1,000	550 x 550 x 500	o				
3	中高生の居場所	SA	VHS	350 x 350	700	2	1,400	500 x 500 x 400	o		RA	HS	350 x 350	700	2	1,400	500 x 500 x 400	o				
3	グループ活動室1	SA	VHS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o		RA	HS	200 x 200	250	1	250	350 x 350 x 300	o				
3	グループ活動室2	SA	VHS	250 x 250	350	1	350	400 x 400 x 300	o		RA	HS	250 x 250	350	1	350	400 x 400 x 300	o				
3	廊下										EA	HS	400 x 400	1,000	2	2,000	550 x 550 x 500	o				
3	倉庫1										EA	HS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o				
3	倉庫1	パ	VHS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o													
3	スタジオ1										パ	HS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o				
3	倉庫2										EA	HS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o				
3	倉庫3										EA	HS	200 x 200	200	1	200	350 x 350 x 300	o				
3	倉庫4										EA	HS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o				
3	ユーティリティコーナー										EA	HS	200 x 200	200	1	200	350 x 350 x 300	o				
3	共用倉庫										EA	HS	250 x 250	350	1	350	400 x 400 x 300	o				
3	共用倉庫	パ	VHS	250 x 250	350	1	350	400 x 400 x 300	o													
3	廊下										パ	HS	250 x 250	350	1	350	400 x 400 x 300	o				
3	給湯室										EA	HS	200 x 200	100	1	100	350 x 350 x 300	o				
3	WWC										EA	HS	200 x 200	125	4	500	350 x 350 x 300	o				
3	MWC										EA	HS	200 x 200	100	4	400	350 x 350 x 300	o				
4	電話相談室	SA	VHS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o		RA	HS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o				
4	事務室	SA	VHS	300 x 300	450	1	450	450 x 450 x 300	o		RA	HS	300 x 300	450	1	450	450 x 450 x 300	o				
4	登校支援指導室	SA	VHS	350 x 350	600	1	600	500 x 500 x 300	o		RA	HS	350 x 350	600	1	600	500 x 500 x 300	o				
4	準備室	SA	VHS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o		RA	HS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o				
4	相談室(1)	SA	VHS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o		RA	HS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o				
4	相談室(2)	SA	VHS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o		RA	HS	200 x 200	150	1	150	350 x 350 x 300	o				
4	相談室(3)	SA	VHS	200 x 200	200	1	200	350 x 350 x 300	o		RA	HS	200 x 200	200	1	200	350 x 350 x 300	o				

制気口リスト

階	室名	吹 出 口						吹 出 口 ボ ッ ク ス			吸 込 口						吸 込 口 ボ ッ ク ス			備 考
		種別	種類	寸 法	風量 m3/h	個数	小計 m3/h	ボックス寸法	内貼 25 t		種別	種類	寸 法	風量 m3/h	個数	小計 m3/h	ボックス寸法	内貼 25 t		
									無	有								無	有	
4	検査室兼相談室	SA	VHS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	RA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300		○	
4	遊戯室	SA	VHS	350×350	650	1	650	500×500×300		○	RA	HS	350×350	650	1	650	500×500×300		○	
4	廊下										EA	HS	350×350	650	1	650	500×500×300	○		
4	廊下										EA	HS	350×350	600	1	600	500×500×300	○		
4	倉庫1										EA	HS	200×200	100	1	100	350×350×300	○		
4	倉庫1	パ	VHS	200×200	100	1	100	350×350×300	○											
4	廊下										パ	HS	200×200	100	1	100	350×350×300	○		
4	倉庫2										EA	HS	200×200	150	1	150	350×350×300	○		
4	倉庫2	パ	VHS	200×200	150	1	150	350×350×300	○											
4	事務室										パ	HS	200×200	150	1	150	350×350×300	○		
4	ロッカー室										EA	HS	200×200	100	1	100	350×350×300	○		
4	ロッカー室	パ	VHS	200×200	100	1	100	350×350×300	○											
4	事務室										パ	HS	200×200	100	1	100	350×350×300	○		
4	WWC										EA	HS	200×200	113	4	450	350×350×300	○		
4	MWC										EA	HS	200×200	150	3	450	350×350×300	○		
4	HWC										EA	HS	200×200	100	1	100	350×350×300	○		
RF	倉庫										EA	HS	200×200	450	1	450	350×350×300	○		

ドアガラルリスト

階	室名	風量 m3/h	風速 m/s	開口率 %	有効面積 m2	必要面積 m2	個数	備 考
B1	便所	200	2.0	30	0.03	0.10	1	
1	更衣M	100	2.0	30	0.02	0.05	1	
1	更衣W	100	2.0	30	0.02	0.05	1	
1	HWC	250	2.0	30	0.04	0.12	1	
2	倉庫5	400	2.0	30	0.06	0.19	1	
2	HWC1	200	2.0	30	0.03	0.10	1	
3	倉庫3	200	2.0	30	0.03	0.10	1	
3	倉庫2	150	2.0	30	0.03	0.07	1	
3	倉庫4	100	2.0	30	0.02	0.05	1	
3	給湯室	100	2.0	30	0.02	0.05	1	
4	WWC	450	2.0	30	0.07	0.21	1	
4	MWC	450	2.0	30	0.07	0.21	1	
4	HWC	100	2.0	30	0.02	0.05	1	

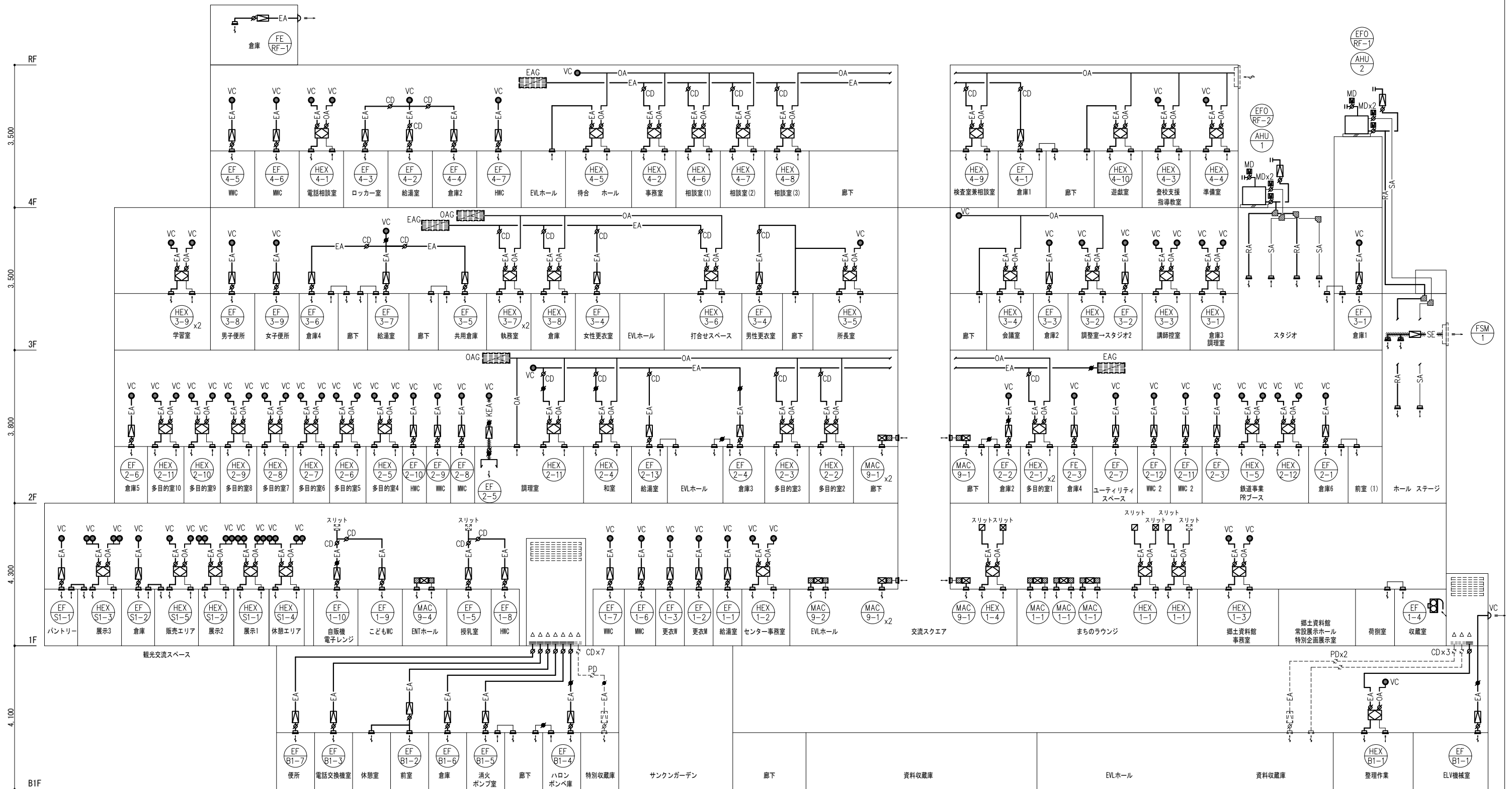
チャンパーリスト

階	系 統 名	種別	サ イ ズ			内 貼		点検口	個数	備 考
			L	W	H	50 t	25 t			
1	MAC-1-1	SA	800	500	400		○		3	
		RA	800	500	400		○		3	
	MAC-9-1	SA	800	500	400		○		6	
		RA	800	500	400		○		6	
	MAC-9-2	RA	800	500	400		○		1	
		SA	800	500	400		○		1	
	MAC-9-4	RA	800	500	400		○		1	

フードリスト

室名	器具名	記号	寸法	ガス量 kw	法定換気量 30KQ m3/h	電気容量 kw	法定換気量 30m3/h・kw m3/h	換気量 m3/h	設計換気量 m3/h	決定換気量 m3/h	GF	フードライト	備考
調理室	ビルトインHクッキングヒーター	KZ-G32EST	? 900 x 600 x 800			8.8	264	264	300	300	○	○	SUS製,FS付
	ビルトインHクッキングヒーター	KZ-G32EST	? 900 x 600 x 800			8.8	264	264	300	300	○	○	SUS製,FS付
	ビルトインHクッキングヒーター	KZ-G32EST	? 900 x 600 x 800			8.8	264	264	300	300	○	○	SUS製,FS付

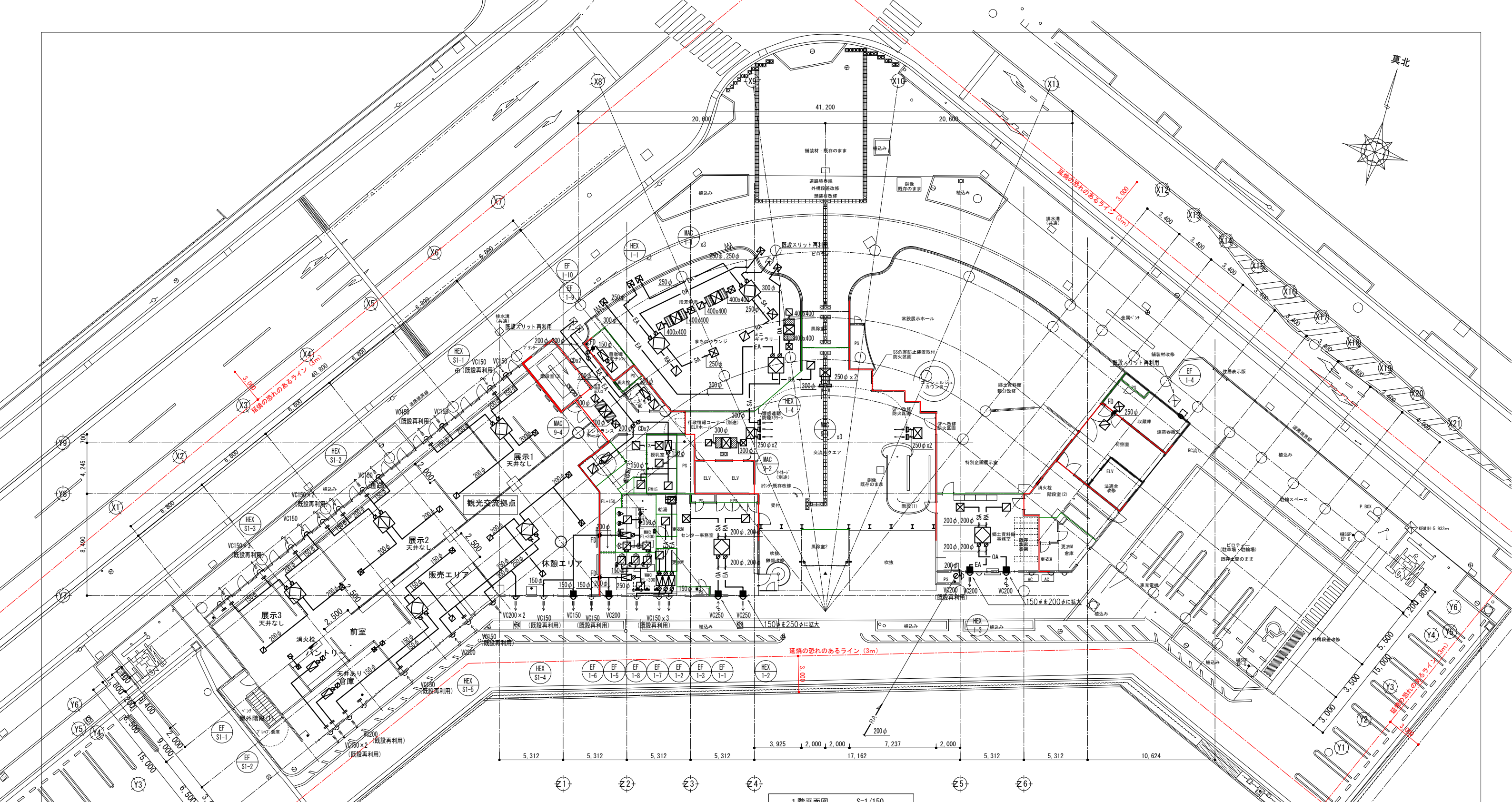
※フードライトは消防法基準適合品とする。  
※ヒューズ温度は200℃とする。



- 注記 1) 明記なきは、VDを示す。  
 2) 明記なきは、FDを示す。  
 3) は火気使用ダクトRW50tを示す。  
 4) は、新設を示す。  
 5) は、既設を示す。  
 6) は、既設接続箇所を示す。

春日部市		縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A1 1 : N.S A3 1 : N.S	(仮称) かさかべひがし交流センター整備工事	空調換気設備 ダクト系統図	M - 09





1階平面図 S=1/150

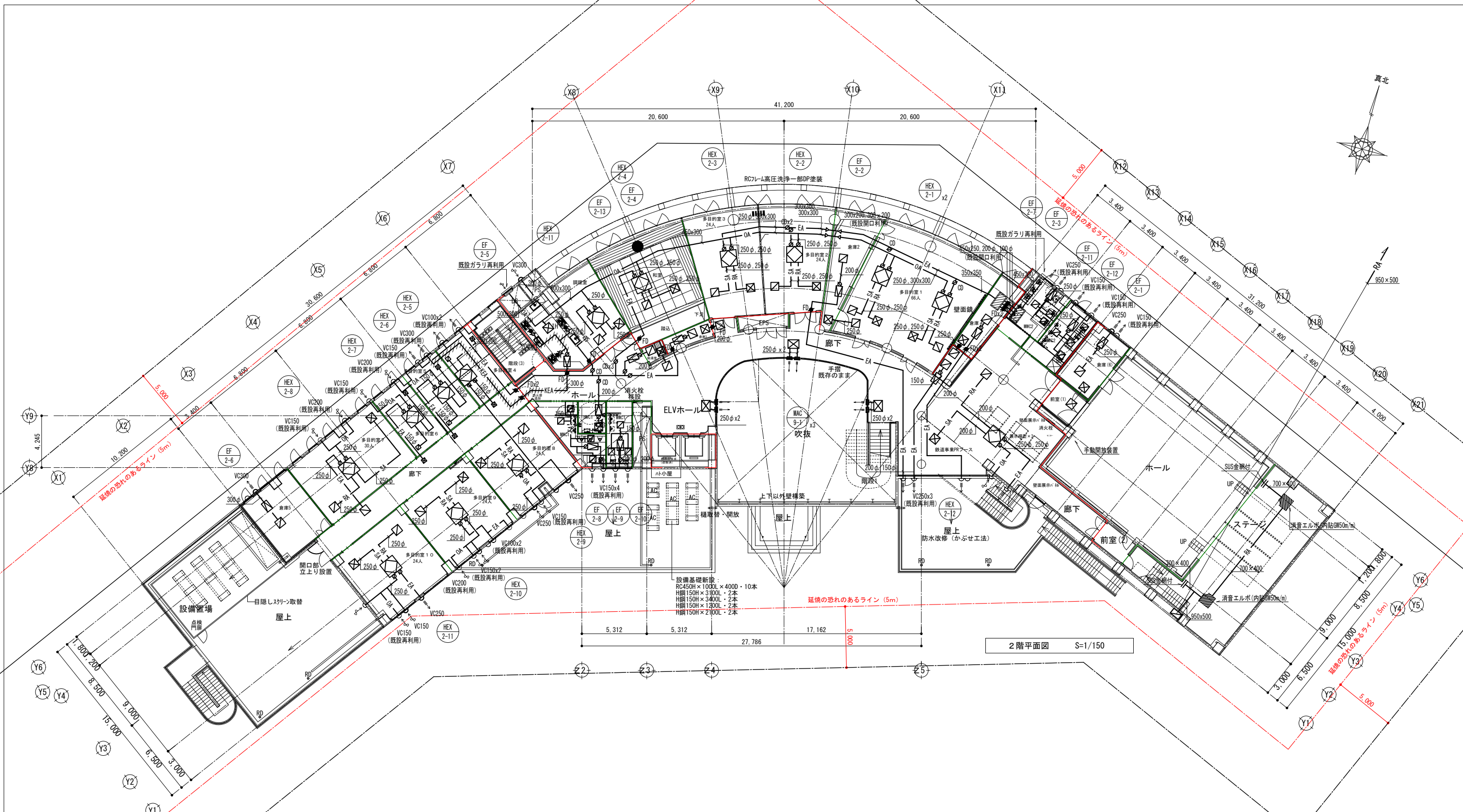
展示1 SA 600 CMH VHS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	展示2 SA 550 CMH VHS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	展示3 SA 650 CMH VHS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	休憩エリア SA 425 CMH VHS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	販売エリア SA 400 CMH VHS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	パントリー EA 200 CMH VHS 200 × 200 BOX 400 × 400 × 400 H GR25mm内貼	パントリー VHS 200 CMH VHS-HS200 × 200 BOX 400 × 400 × 400 H GR25mm内貼
展示1 RA 600 CMH HS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	展示2 RA 550 CMH HS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	展示3 RA 650 CMH HS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	休憩エリア RA 425 CMH HS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	販売エリア RA 400 CMH HS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	倉庫 EA 450 CMH HS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼	倉庫 VHS 450 CMH VHS-HS 400 × 400 BOX 600 × 600 × 500 H GR25mm内貼

- 壁貫通(コア抜き)部分(レントゲン検査費用見込むこと)
- 壁穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)  
(内装内仕切防火区画、スプー・スプー)
- 壁穴区画(壁天井上可燃、床~天井まで)
- 防煙区画(壁天井上可燃、床~天井まで)
- 防火上主要な間仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

1階床面積概要	
確認申請床面積	1,835.50㎡
改修部分床面積	1,558.94㎡
既存のまま床面積	276.56㎡
確認申請延床面積	5,249.724㎡
改修部分延床面積	4,411.73㎡ (84.04%)
既存のまま延床面積	771.99㎡

春日部市

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 1:150 A3 1:300	(仮称) かすかべびがし交流センター整備工事	空調換気設備 ダクト1階平面図	M-11



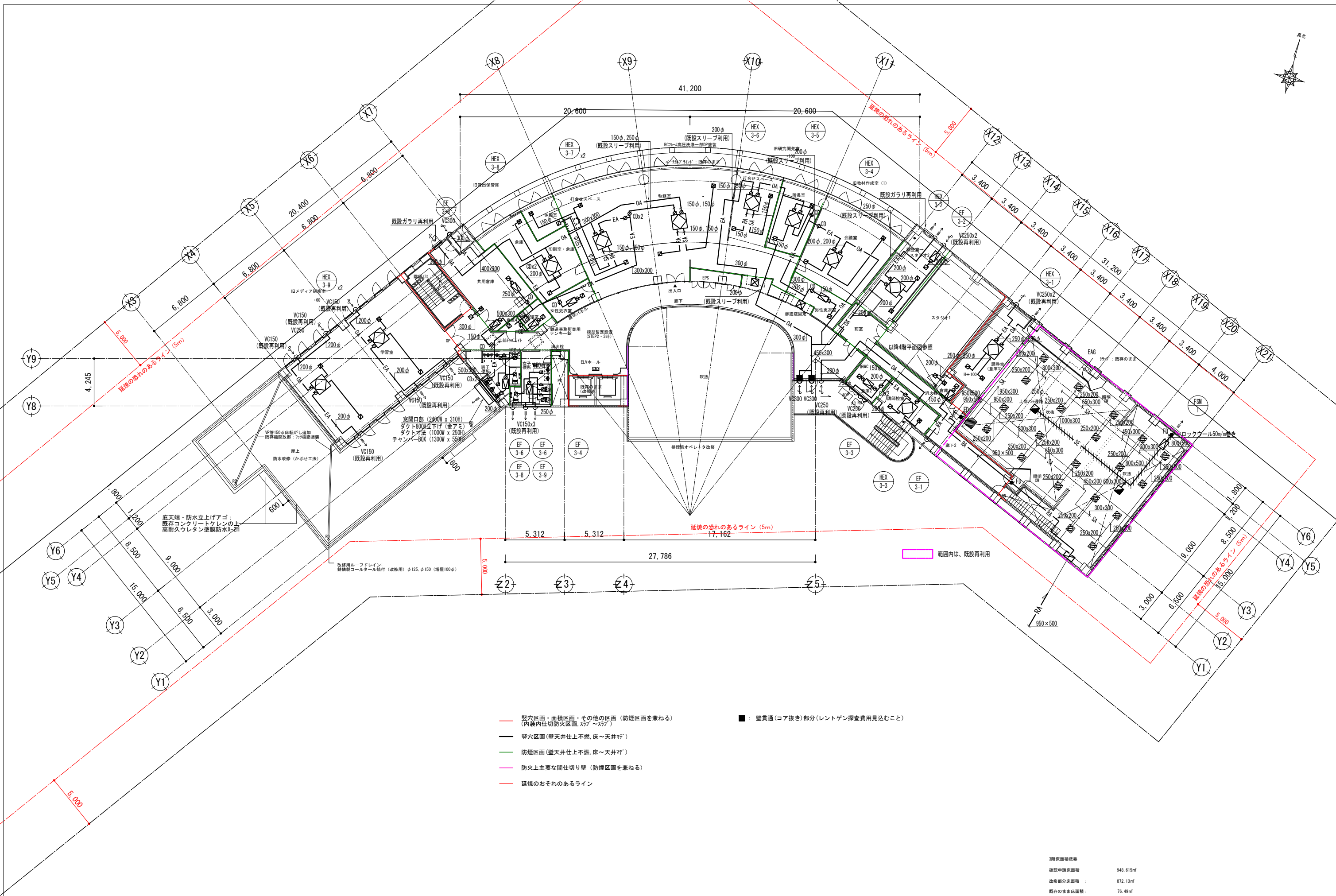
- 壁穴区画・面積区画・その他の区画（防煙区画を兼ねる）  
（内装内仕切防火区画、377～377）
- 壁穴区画（壁天井仕上不燃、床～天井まで）
- 防煙区画（壁天井仕上不燃、床～天井まで）
- 防火上主要な間仕切り壁（防煙区画を兼ねる）
- 延焼のおそれのあるライン

設備基礎新設：  
 RC450H×1000L×4000・10本  
 H鋼150H×3100L・2本  
 H鋼150H×3400L・2本  
 H鋼150H×1200L・2本  
 H鋼150H×2100L・2本

2階平面図 S=1/150

2階床面積概要  
 確認申請床面積 : 1,370.849㎡  
 改修部分床面積 : 1,312.89㎡  
 既存のまま床面積 : 57.96㎡

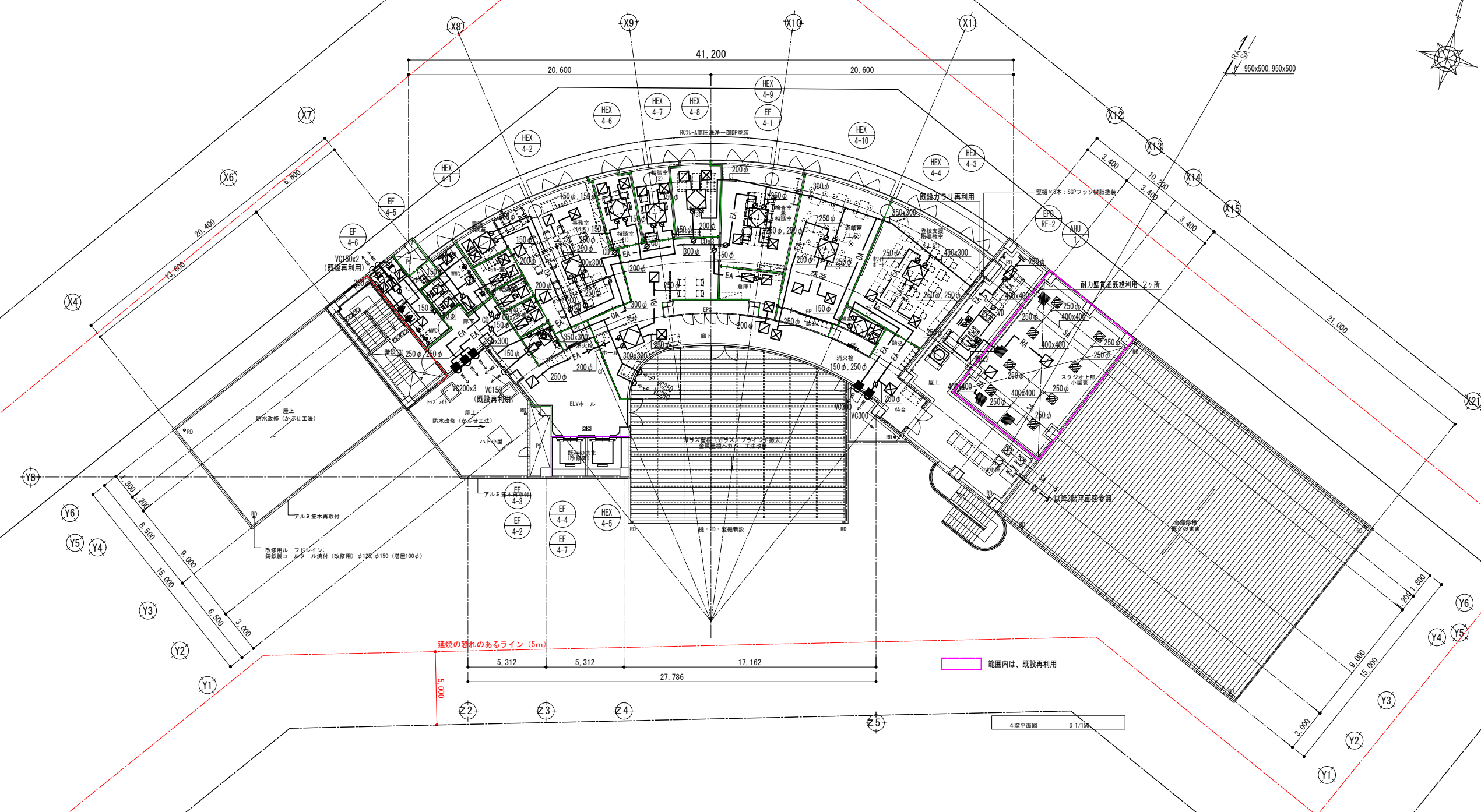
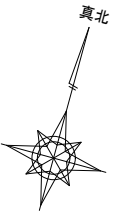
春日部市	縮尺 A1 1:150 A3 1:300	工事名称 (仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	図名 空調換気設備ダクト2階平面図	図面番号 M-12
------	----------------------------	--------------------------------	----------------------	--------------



- 堅穴区画・面積区画・その他の区画 (防煙区画を兼ねる)  
(内装内仕切防火区画, スラブ~スラブ)
- 堅穴区画 (壁天井仕上可燃, 床~天井)
- 防煙区画 (壁天井仕上可燃, 床~天井)
- 防火上主要な間仕切り壁 (防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン
- : 壁貫通 (コア抜き) 部分 (レントゲン検査費用見込むこと)

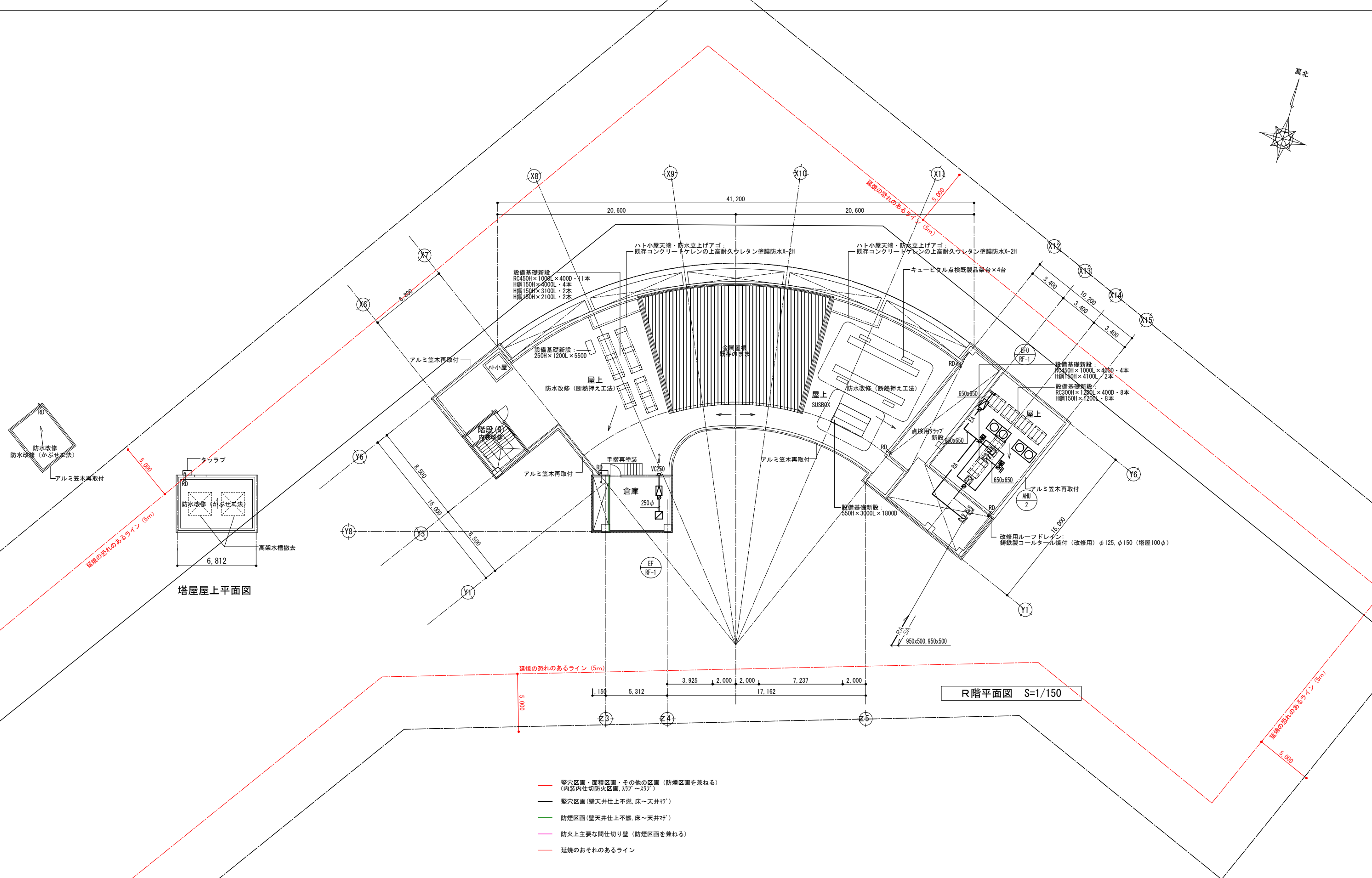
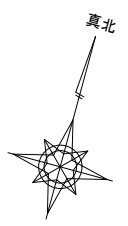
3階床面積概要  
 確認申請床面積 948.615㎡  
 改修部分床面積 872.13㎡  
 既存のまま床面積 76.49㎡

春日部市		縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A1 1:150 A3 1:300	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	空調換気設備 ダクト3階平面図	M-13



4階床面積概要  
 確認申請床面積 : 527.923㎡  
 改修部分床面積 : 475.03㎡  
 既存のまま床面積 : 52.89㎡

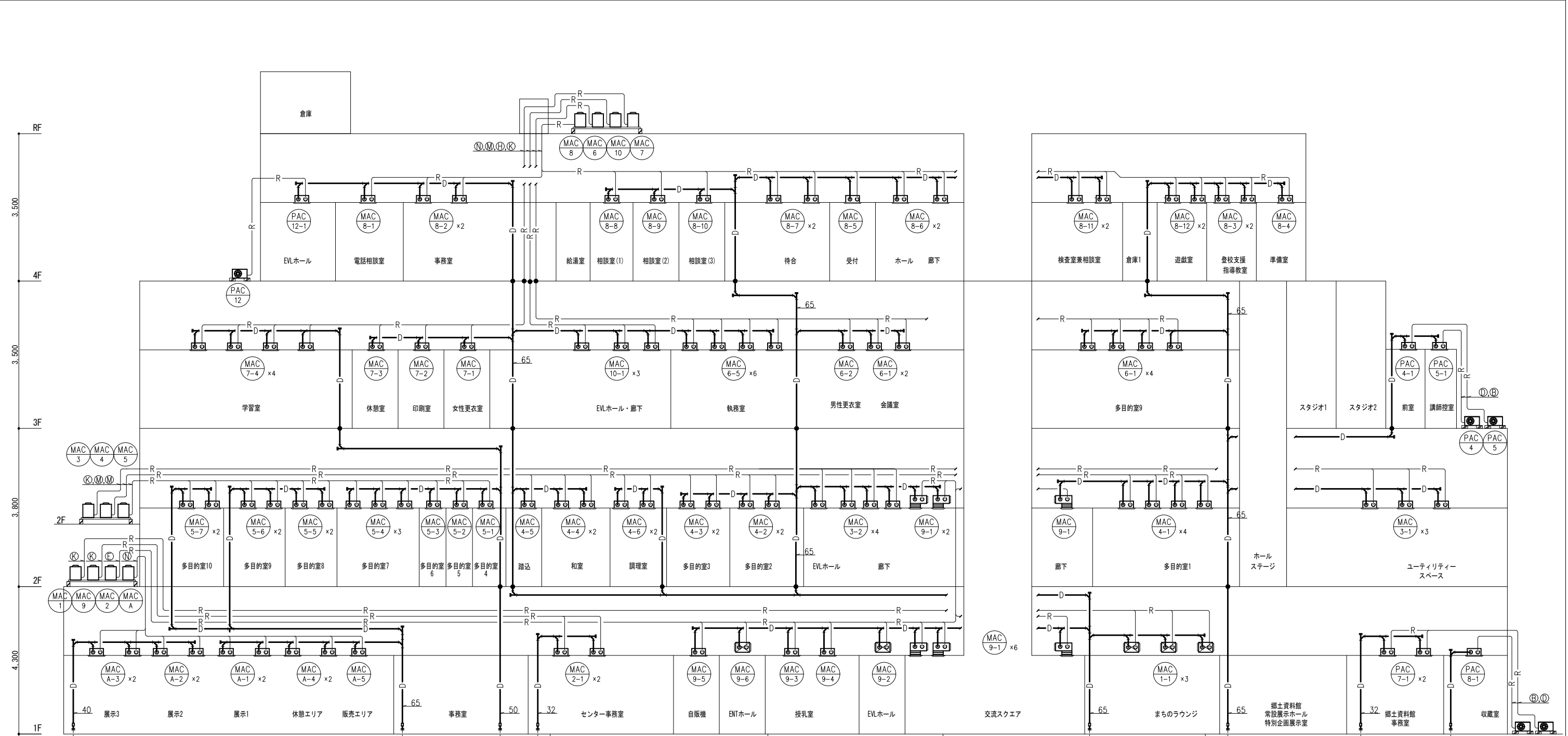
変更後	春日部市	縮尺 A1 1:150 A3 1:300	工事名称 (仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	図名 空調換気設備 ダクト4階平面図	図面番号 M-14
-----	------	----------------------------	--------------------------------	-----------------------	--------------



- 壁穴区画・面積区画・その他の区画 (防煙区画を兼ねる)  
(内装内仕切火区画, 337~337)
- 壁穴区画 (壁天井仕上不燃, 床~天井まで)
- 防煙区画 (壁天井仕上不燃, 床~天井まで)
- 防火上主要な間仕切り壁 (防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

R階床面積概要  
 確認申請床面積 : 52.970㎡  
 改修部分床面積 : 0㎡  
 既存のまま床面積 : 52.970㎡

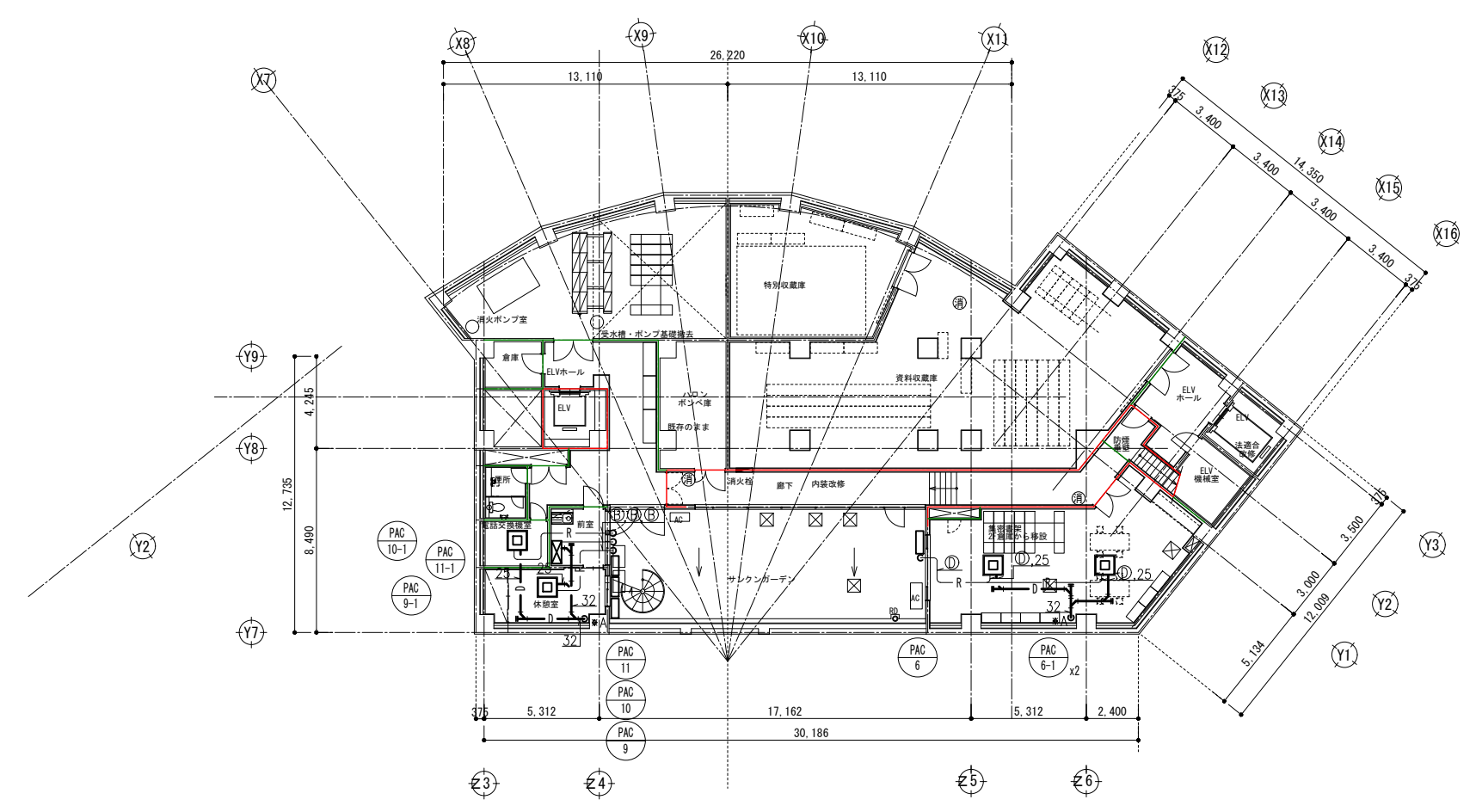
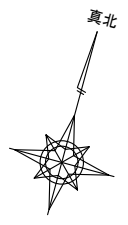
		春日部市	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			A1 1:150 A3 1:300	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	空調換気設備 ダクトR階平面図	M-15



冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
A	6.35 φ	9.52 φ
B	6.35 φ	12.70 φ
C	9.52 φ	12.70 φ
D	9.52 φ	15.88 φ
E	9.52 φ	19.05 φ
F	9.52 φ	22.20 φ
G	9.52 φ	25.40 φ
H	12.70 φ	22.20 φ
I	12.70 φ	25.40 φ
J	12.70 φ	28.58 φ
K	15.88 φ	28.58 φ
L	15.88 φ	31.80 φ
M	19.05 φ	31.80 φ
N	19.05 φ	38.10 φ
O	22.20 φ	38.10 φ

注記 1) —R—●— は防火区画貫通処理必要箇所を示す。  
 2) 明記なき配管サイズは、平面図参照とすること。  
 3) - - - - は、既設を示す。  
 4) —H— は、既設接続箇所を示す。  
 5) □ は、エアカットバルブを示す。



地下1階平面図 S=1/150

- 壁穴区画・面積区画・その他の区画（防煙区画を兼ねる）  
（内装内仕切防火区画、ｽ37～ｽ37）
- 壁穴区画（壁天井仕上不燃、床～天井まで）
- 防煙区画（壁天井仕上不燃、床～天井まで）
- 防火上主要な間仕切り壁（防煙区画を兼ねる）
- 延焼のおそれのあるライン

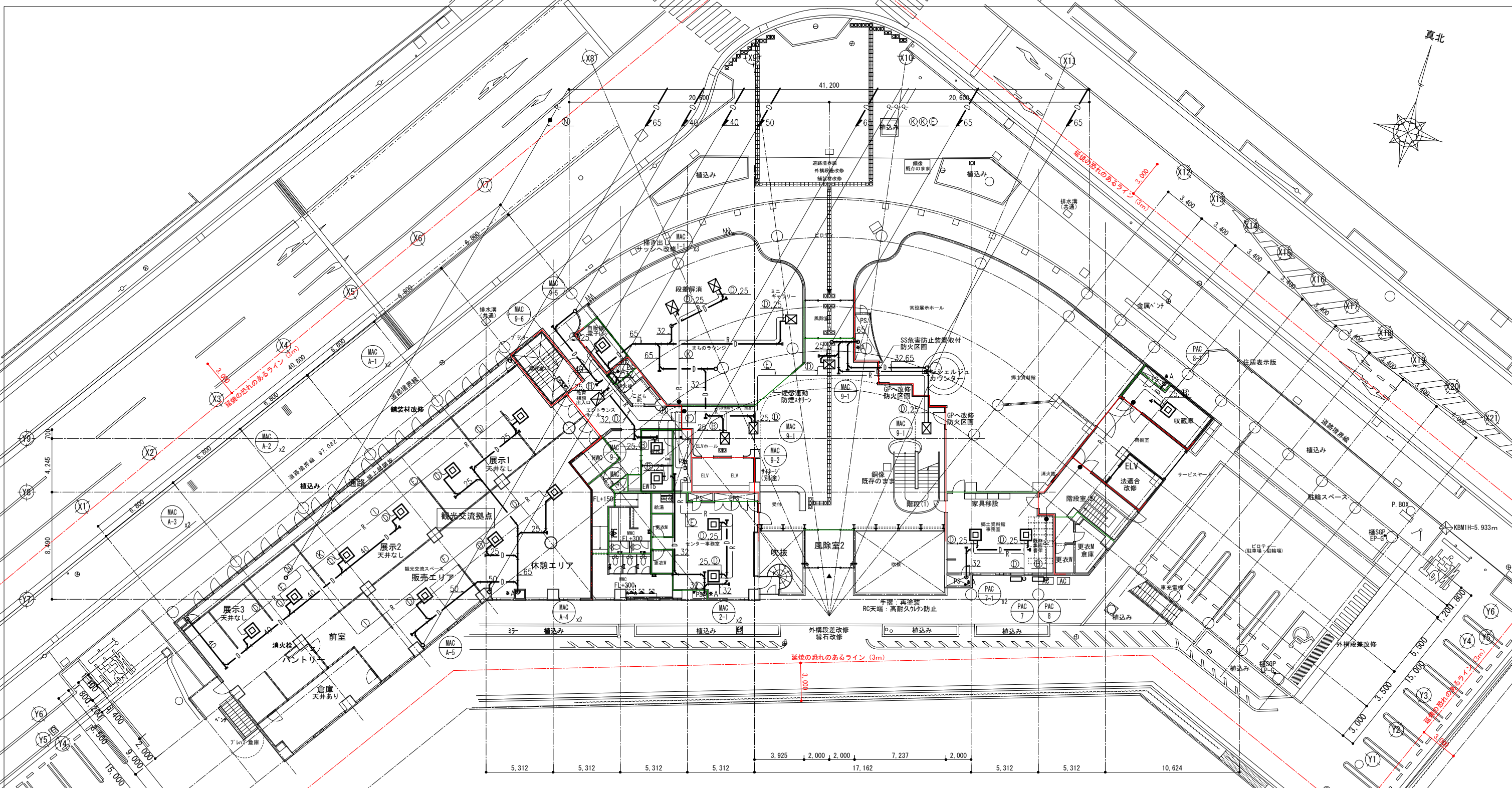
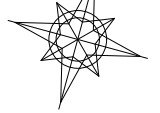
冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35 φ	9.52 φ
Ⓑ	6.35 φ	12.70 φ
Ⓒ	9.52 φ	12.70 φ
Ⓓ	9.52 φ	15.88 φ
Ⓔ	9.52 φ	19.05 φ
Ⓕ	9.52 φ	22.20 φ
Ⓖ	9.52 φ	25.40 φ
Ⓗ	12.70 φ	22.20 φ
Ⓙ	12.70 φ	25.40 φ
Ⓚ	12.70 φ	28.58 φ
Ⓛ	15.88 φ	28.58 φ
Ⓜ	15.88 φ	31.80 φ
Ⓝ	19.05 φ	31.80 φ
Ⓞ	19.05 φ	38.10 φ
Ⓟ	22.20 φ	38.10 φ

地下1階床面積概要  
 確認申請床面積 : 513.864㎡  
 改修部分床面積 : 192.74㎡  
 既存のまま床面積 : 321.12㎡

		春日部市	縮尺 A1 1:150 A3 1:300	工事名称 (仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	図名 空調換気設備 配管B1階平面図	図面番号 M-17
--	--	------	----------------------------	--------------------------------	-----------------------	--------------

真北



1階平面図 S=1/150

- 壁穴区画・面積区画・その他の区画（防煙区画を兼ねる）  
（内装内仕切防火区画、X37～X37'）
- 壁穴区画（壁天井仕上不燃、床～天井）
- 防煙区画（壁天井仕上不燃、床～天井）
- 防火上主要な間仕切り壁（防煙区画を兼ねる）
- 延焼のおそれのあるライン

冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
A	6.35φ	9.52φ
B	6.35φ	12.70φ
C	9.52φ	12.70φ
D	9.52φ	15.88φ
E	9.52φ	19.05φ
F	9.52φ	22.20φ
G	9.52φ	25.40φ
H	12.70φ	22.20φ
I	12.70φ	25.40φ
J	12.70φ	28.58φ
K	15.88φ	28.58φ
L	15.88φ	31.80φ
M	19.05φ	31.80φ
N	19.05φ	38.10φ
O	22.20φ	38.10φ

1階床面積概要  
 確認申請床面積 : 1,835.50㎡  
 改修部分床面積 : 1,558.94㎡  
 既存のまま床面積 : 276.56㎡  
 確認申請延床面積 : 5,249.724㎡  
 改修部分延床面積 : 4,411.73㎡ (84.04%)  
 既存のまま延床面積 : 771.99㎡

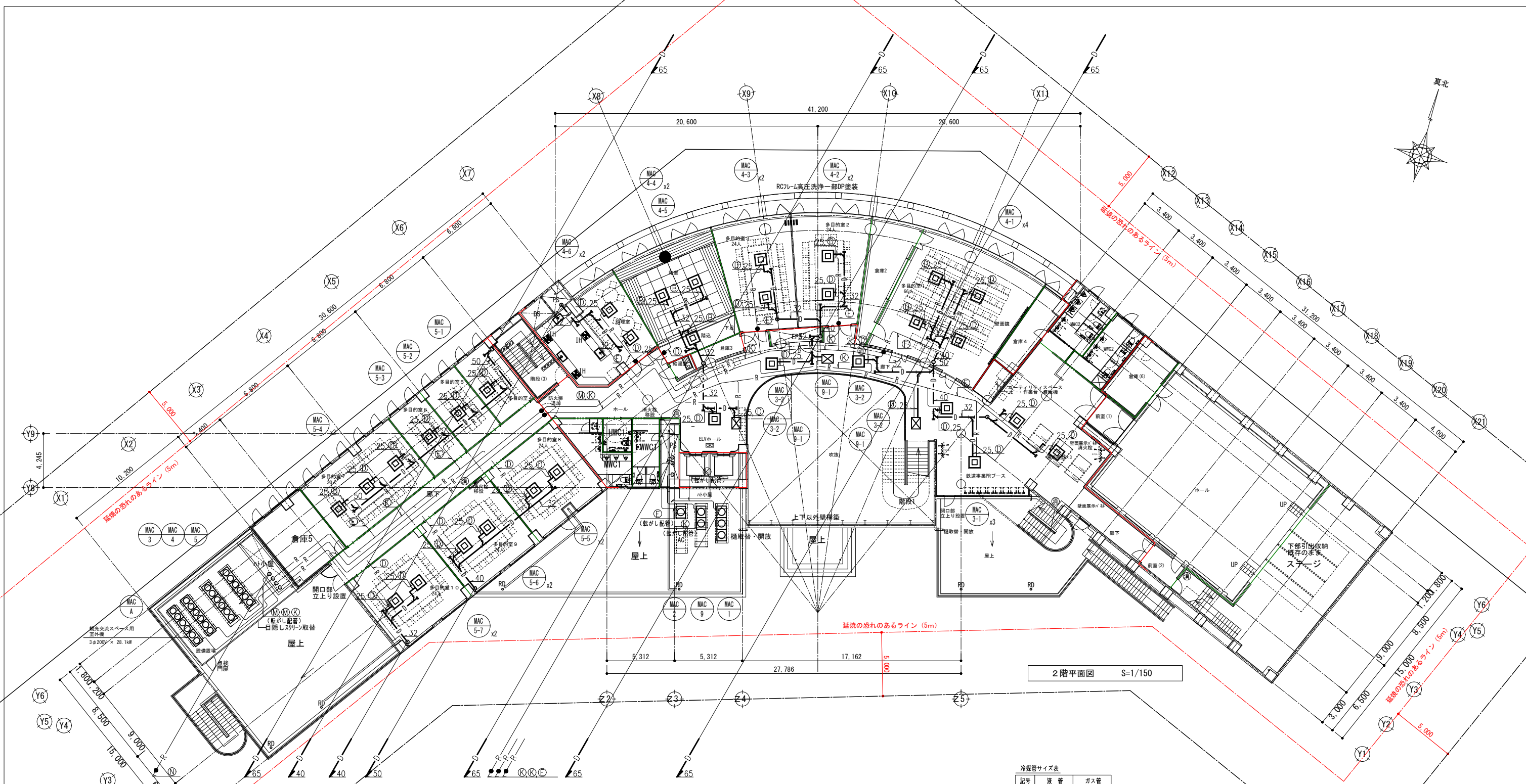
春日部市

縮尺  
A1 1:150  
A3 1:300

工事名称  
(仮称) かすかべびがし交流センター整備工事

図名  
空調換気設備 配管1階平面図

図面番号  
M-18



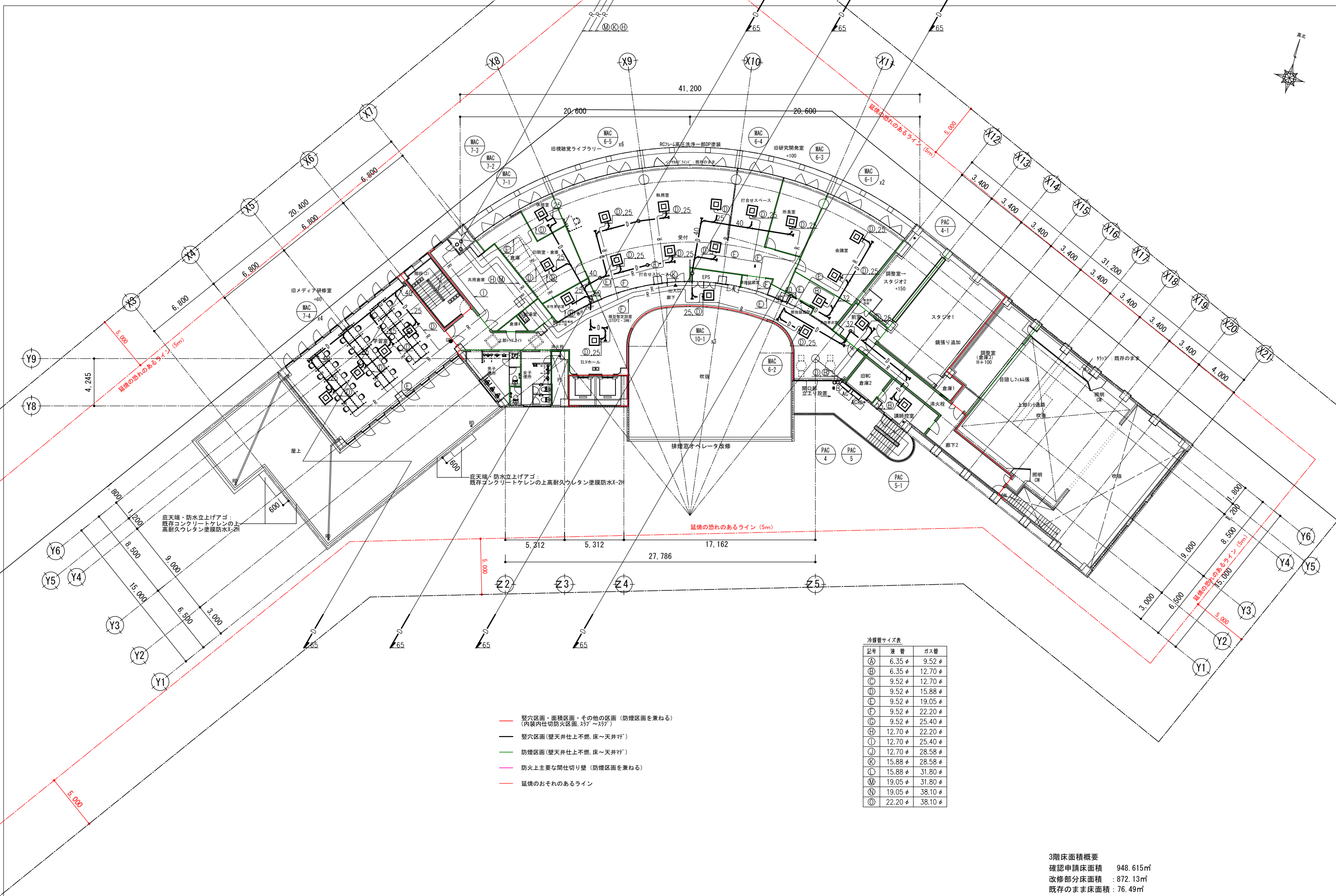
2階平面図 S=1/150

- 壁穴区画・面積区画・その他の区画（防煙区画を兼ねる）  
（内装内仕切防火区画、377～377）
- 壁穴区画（壁天井仕上不燃、床～天井まで）
- 防煙区画（壁天井仕上不燃、床～天井まで）
- 防火上主要な間仕切り壁（防煙区画を兼ねる）
- 延焼のおそれのあるライン

冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
A	6.35φ	9.52φ
B	6.35φ	12.70φ
C	9.52φ	12.70φ
D	9.52φ	15.88φ
E	9.52φ	19.05φ
F	9.52φ	22.22φ
G	9.52φ	25.40φ
H	12.70φ	22.22φ
I	12.70φ	25.40φ
J	12.70φ	28.58φ
K	15.88φ	28.58φ
L	15.88φ	31.80φ
M	19.05φ	31.80φ
N	19.05φ	38.10φ
O	22.22φ	38.10φ

2階床面積概要  
 確認申請床面積 : 1,370.849㎡  
 改修部分床面積 : 1,312.89㎡  
 既存のまま床面積 : 57.96㎡

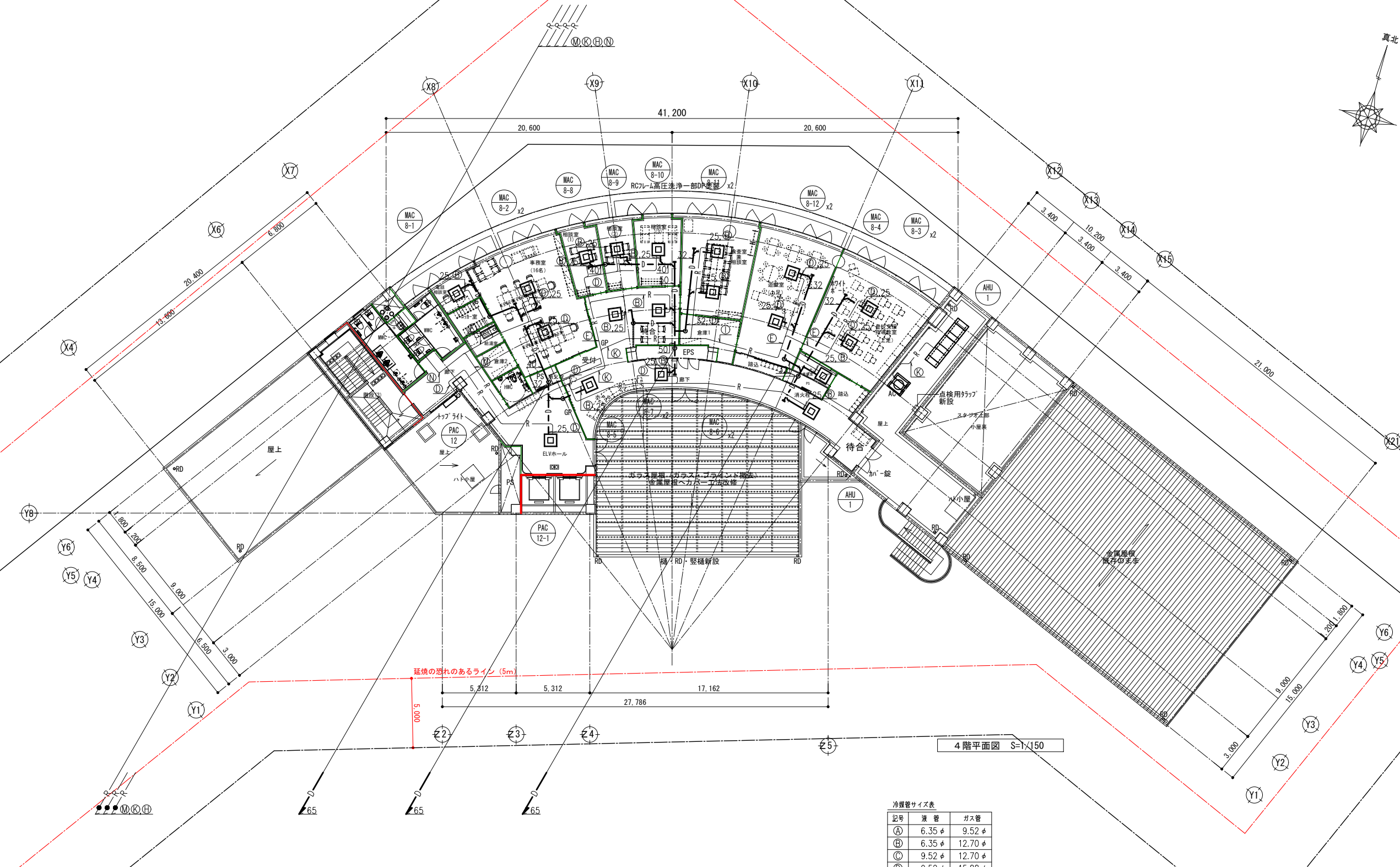
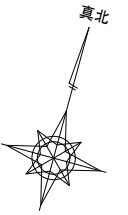


- 堅穴区画・面積区画・その他の区画（防煙区画を兼ねる）  
（内装内仕切防火区画、ｽﾌﾟｰﾙｽﾌﾟｰﾙ）
- 堅穴区画（壁天井仕上可燃、床～天井）
- 防煙区画（壁天井仕上可燃、床～天井）
- 防火上主要な間仕切り壁（防煙区画を兼ねる）
- 延焼のおそれのあるライン

冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	9.52φ
Ⓑ	6.35φ	12.70φ
Ⓒ	9.52φ	12.70φ
Ⓓ	9.52φ	15.88φ
Ⓔ	9.52φ	19.05φ
Ⓕ	9.52φ	22.20φ
Ⓖ	9.52φ	25.40φ
Ⓗ	12.70φ	22.20φ
Ⓘ	12.70φ	25.40φ
Ⓚ	12.70φ	28.58φ
Ⓛ	15.88φ	28.58φ
Ⓜ	15.88φ	31.80φ
Ⓝ	19.05φ	31.80φ
Ⓟ	19.05φ	38.10φ
Ⓡ	22.20φ	38.10φ

3階床面積概要  
 確認申請床面積 948.615㎡  
 改修部分床面積 : 872.13㎡  
 既存のまま床面積 : 76.49㎡



- 壁穴区画・面積区画・その他の区画 (防煙区画を兼ねる)  
(内装内仕切防火区画, ｽﾌﾟﾗｲﾝ)
- 壁穴区画 (壁天井仕上 不燃, 床~天井ｽﾌﾟﾗｲﾝ)
- 防煙区画 (壁天井仕上 不燃, 床~天井ｽﾌﾟﾗｲﾝ)
- 防火上主要な間仕切り壁 (防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
A	6.35 φ	9.52 φ
B	6.35 φ	12.70 φ
C	9.52 φ	12.70 φ
D	9.52 φ	15.88 φ
E	9.52 φ	19.05 φ
F	9.52 φ	22.20 φ
G	9.52 φ	25.40 φ
H	12.70 φ	22.20 φ
I	12.70 φ	25.40 φ
J	12.70 φ	28.58 φ
K	15.88 φ	28.58 φ
L	15.88 φ	31.80 φ
M	19.05 φ	31.80 φ
N	19.05 φ	38.10 φ
O	22.20 φ	38.10 φ

4階床面積概要  
 確認申請床面積 : 527.923㎡  
 改修部分床面積 : 475.03㎡  
 既存のまま床面積 : 52.89㎡

